取扱説明書

ルームエアコン ツルフィード

先進呼吸

PLASMA AERO V

室内ユニット
AS28GPV
（室外ユニット AO28GPV）

正しくお使いいただくために、
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。
特に、安全上のご注意は必ず読んで正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに
『保証書』とともに必ず保存してください。
●据付けや取りはずしには、専門技術が必要です。
　必ずお買上げの販売店にご相談ください。

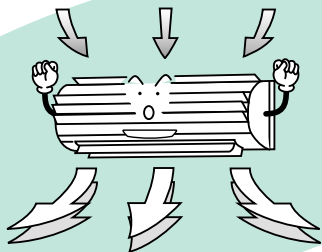
保証書別添

●この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

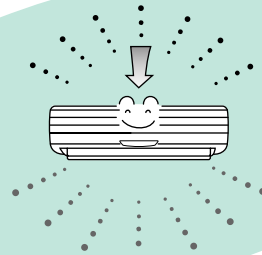
株式会社 富士通ゼネラル

特長

一年中使うエアコンだから より使いやすく、快適に……。

自動開閉パネル

10 ページ

お部屋の空気を大きくスムーズに吸い込むので、足もとまで効率よくパワフルな温風を送ります。

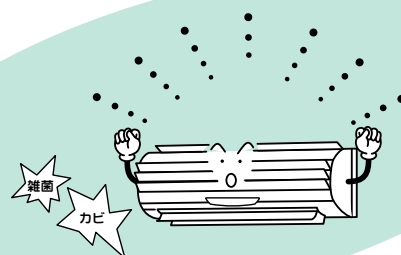
空気清浄運転

22～23 ページ

お部屋の空気を電気の力で素早くきれいにします。また、空気の汚れ具合を空気清浄モニターでチェックすることができます。

快適除湿運転 <ダブルドライ>

20～21 ページ

除湿効果が高く、肌寒さを抑えた快適な除湿運転です。

プラズマクリーン

26 ページ

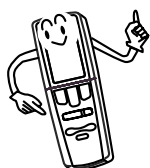
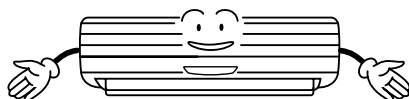
オゾンの力で、室内ユニットのカビや雑菌の繁殖を抑えます。

温度・湿度モニター

34 ページ

室内温度・湿度や屋外温度をチェックしながら、お好みに合わせて適切な温度設定ができます。

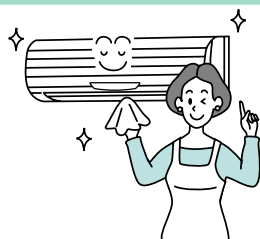
目次

ページ

ご使用の前に

運転のしかた

便利な機能

お手入れ

困ったときなど

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この項目は、いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。
- 「警告」「注意」の意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの。

絵表示について

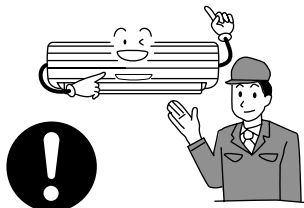
⚠記号は、警告・注意を告げるものです。

⃠記号は、禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くの絵は具体的な禁止内容を表しています。（左図の場合は、分解や修理・改造の禁止）

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中の絵は具体的な指示内容を表しています。（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）

据付け時

⚠警告

据付けは、お買上げの販売店にご依頼を

- ご自分で据付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因となります。

電源は必ずエアコン専用のコンセントをお使いください

- エアコンのコンセントを他の電気機器と共用すると電源の容量が不足し、火災の原因となります。

エアコンを移設する場合は、お買上げの販売店にご相談を

- 移設工事に不備があると、水漏れや感電・火災の原因となります。

⚠注意

アースを取り付けて

- 対地電圧が150ボルトを超える電源で使用する場合にあっては、必ずアースを取り付け、その他の場合にあっては、できるだけアースを取り付けて使用してください。
- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
  ガス管：爆発や引火の危険
  水道管：アースの役目をしない
  避雷針、電話のアース線：落雷のとき危険
- アースが不完全な場合は感電の原因となることがあります。
- アースは、アース接続用ネジにつないでください。
- アースは、感電防止の他に、テレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。

次ページへつづく

据付け時

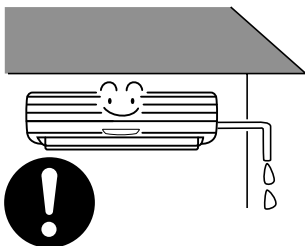
⚠注意

漏電遮断器を取り付けて

●据付場所によっては漏電遮断器の取付けが法規で義務づけられています。お買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
●漏電遮断器がないと、感電の原因となることがあります。

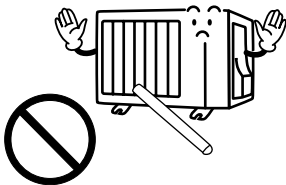
可燃性ガスが漏れる恐れのある所へは据え付けないで

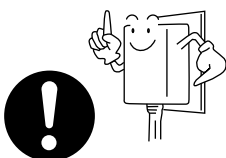
●万一ガスが漏れてエアコンの周囲にたまると、発火の原因となることがあります。

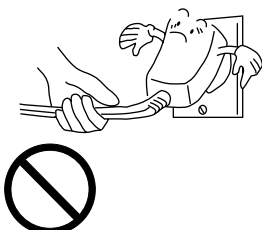
ドレンホースは、確実に排水するように配管を

●配管に不備があると屋内に浸水し、家財等をぬらす原因となることがあります。室内ユニットの下には、なるべく高価な家財等を置かないでください。

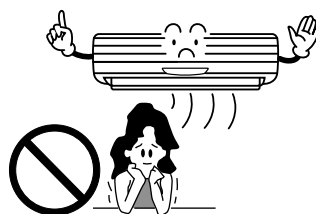
ご使用時

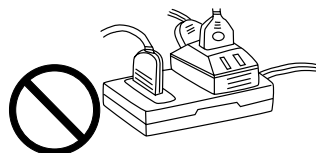
⚠警告

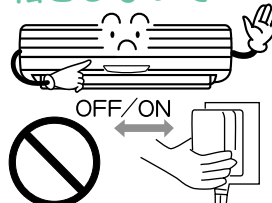
吹出口や吸込口に指や棒などを入れないで

●内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所があるため、ケガや感電の原因となります。
●特にお子様にご注意ください。

電源プラグはホコリが付着していないか確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込んで

●ホコリが付着していたり、差込みが不完全な場合やコンセントがゆるい場合は、火災・感電の原因となります。

電源コードを破損しないようにご注意を

●電源コードは、束ねたり、重い物を乗せたり、引っ張ったりすると破損することがあります。傷んだまま使用すると、火災・感電の原因となります。

長時間冷風を身体に当てたり冷やし過ぎたりしないで

●体調悪化、健康障害の原因となります。
●特に、就寝時や乳幼児、お年寄り、病気の方などがいる場合にはご注意ください。

電源コードの改造や延長コードの使用、タコ足配線はしないで

●火災・感電の原因となります。

電源プラグの抜き差しや、主電源スイッチの切／入により、エアコンの停止や運転をしないで

●火災・感電の原因となります。

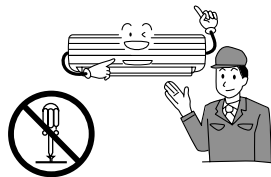
安全上のご注意（つづき）

ご使用時

⚠警告

異常時（こげ臭い等）はすぐに運転を停止して電源プラグを抜き、お買上げの販売店または当社サービス窓口にご連絡を

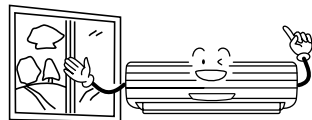
●異常のまま運転を続けると、火災・感電の原因となります。

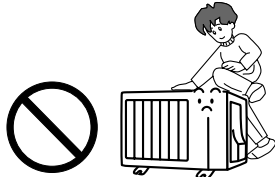
修理はお買上げの販売店にご依頼を

●ご自分で分解や修理をされ不備があると、火災・感電の原因となります。

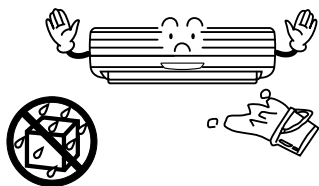
エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので、お買上げの販売店にご相談を
冷媒の追加に伴う修理の場合は、修理の内容をサービスマンに確認して

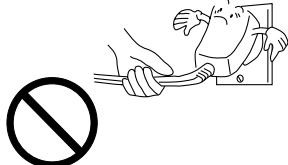
●エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生する原因となります。

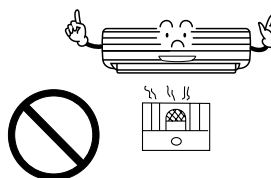
⚠注意

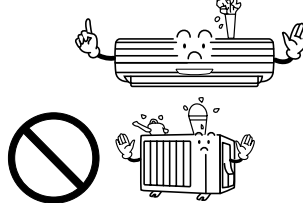
運転中はときどき換気を

●特に冬期にストーブなどと一緒に運転するときは、こまめに換気をしてください。
●換気が不十分な場合は、酸素不足の原因となることがあります。

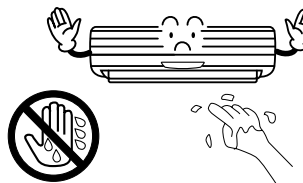
室外ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしないで

●落下、転倒などにより、ケガの原因となることがあります。

エアコンを水洗いしないで

●電気絶縁が悪くなり感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときにコードを引っ張らないで

●コードを引っ張って抜くと、芯線の一部が断線し、発熱発火の原因となることがあります。

エアコンの風が直接当たる所に燃焼器具を置かないで

●燃焼器具に風が当たると、不完全燃焼を起こしたり火災の原因となることがあります。

エアコンの上に花瓶等の水の入った容器を乗せないで

●水がこぼれるとエアコン内部に浸水して電気絶縁が低下し、感電等の原因となることがあります。

濡れた手で本体のスイッチを操作したり、電源プラグの抜き差しをしないで

●感電の原因となることがあります。

エアフィルターの清掃などをするときは必ず運転を停止し、電源プラグも抜いて

●内部でファンが高速回転していますのでケガの原因となることがあります。

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いて

●プラグにホコリがたまって、発煙・発火の原因となることがあります。

⚠注意

幼児が誤って電池を飲み込まないようにご注意を

●電池を飲み込んだ場合は、すぐにはき出させるか、医師にご相談ください。健康を害する原因となります。

正しいアンペアのヒューズ以外は使用しないで

●ヒューズ以外は使用しないでください。火災の原因となることがあります。

清掃のときなど、集じんユニットの取り付けは確実に

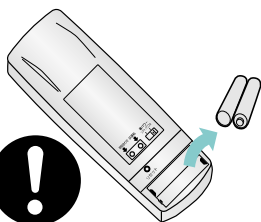
●取り付けに不備があると、集じんユニットの落下によるケガの原因となることがあります。

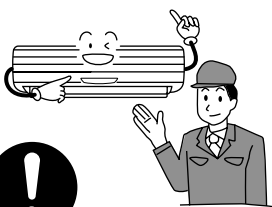
吸込グリルをはずさないで

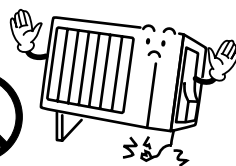
●吸込グリルをはずすことはできません。無理にはずすと、故障や落下によるケガの原因となることがあります。

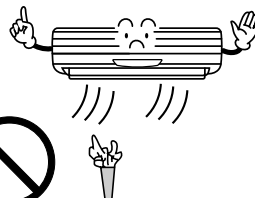
吸込グリルの掃除のときなど不安定な台に乗らないで

●転倒などによるケガの原因となることがあります。

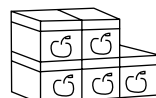
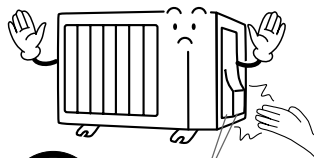
長期間リモコンを使用しない場合は電池を取り出して

●電池から液が漏れる場合があります。
●漏れた液が皮膚についたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。なお症状によっては、医師にご相談ください。

室内ユニット内部の清掃は、お買上げの販売店または当社サービス窓口にご相談を

●市販の洗浄剤などをご使用になると、場合によってはプラスチック部品が破損したり、排水経路の詰まりなどに至ることがあり、水漏れなどの故障や感電の原因となる場合があります。

長期間の使用で据付台等が傷んでいないかご注意を

●傷んだ状態で放置するとエアコンの落下につながり、ケガの原因となることがあります。

動植物に直接風が当たる場所には設置しないで

●動植物に悪影響を及ぼす原因となることがあります。

食品、動植物、精密機器、美術品の保存など、特殊な用途には使用しないで

●保存品の品質低下等の原因となることがあります。
●お部屋の冷房、暖房、除湿以外の特殊な用途には使用しないでください。

接続バルブは、暖房時に熱くなるので触らないで

●接続バルブに触れるとやけどの原因となることがあります。

熱交換器に強く触らないで

●ケガの原因となることがあります。
●特に、掃除のときなどにご注意ください。

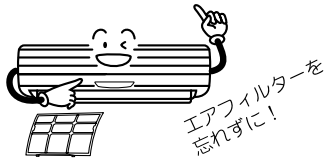
エアフィルター・集じんユニットを水洗いした後は、水気をふき取って陰干しをして

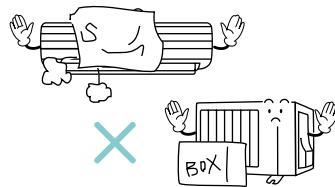
●水気が残っていると感電の原因となることがあります。

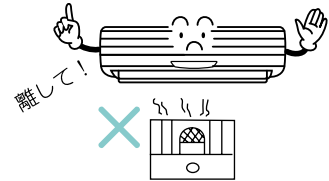
知っておいていただきたいこと

故障を防ぐために必ずお読みください。

使用上のお願い

エアフィルターを入れて運転をしてください。

●入れないで運転しますと機械が汚れ、故障の原因となります。

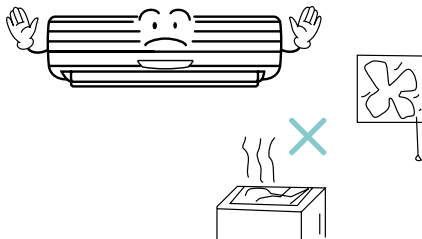
吸込口・吹出口をふさがないでください。

●障害物があると性能が低下したり、正常な運転ができず、故障の原因となります。

エアコンのそばにストーブなどを置かないでください。

●熱のため外装が変形することがあります。

据付け上のお願い（移設工事には、必要な実費がかかります）

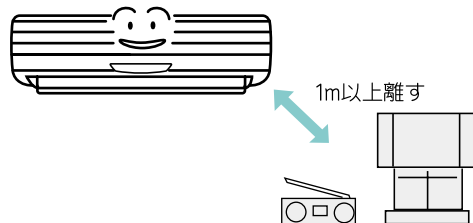
特殊な場所での据付けは販売店にご相談ください。

●海浜地区で潮風の当たる場所、温泉地帯など硫化ガスの発生する場所、機械油の多い所などでご使用になる場合は、腐食などにより故障の原因となることがありますので、お買上げの販売店にご相談ください。

排気口、換気扇など蒸気、油煙、チリ、ホコリの排出される付近は避けてください。

●油煙のある場所や、工場などで油を多く使用している付近への据付けは避けてください。故障の原因となることがあります。

除湿水の処理しやすい所に据え付けてください。

●除湿水が隣家などの迷惑とならないようにしてください。
●暖房運転のときには、室外ユニットから水が出ます。また冷房・ドライ運転のときには、接続バルブに水がつき、室外ユニットから流れ出すことがあります。

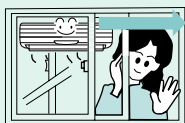
エアコン本体及びリモコンは、テレビやラジオから 1m 以上離してください。

●テレビやラジオに映像の乱れや雑音が入る場合があります。

騒音にもご配慮を

●据付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
●エアコンの室外吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
●エアコンの室外吹出口の近くに物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近に障害物を置かないでください。
●エアコンをご使用中異常音がする場合などは、お買上げの販売店にご相談ください。

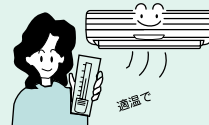
上手な使い方

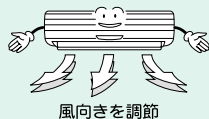
エアコンの上手な活用法です。

窓やドアは必要以外は閉めて

冷気や暖気が逃げないように窓やドアは必要なとき以外は閉めてください。

熱の侵入や発生を少なく

冷房時、直射日光の当たる窓にはカーテンを引くか、ブラインドをおろしてください。

室内温度は適温に

冷やしすぎ、暖めすぎは健康上よくありません。また、電気のムダ使いにもなります。

室内温度はムラのないように

室温のムラが少なくなるように、上下、左右方向に風向きを調節してください。

タイマーを有効に

タイマーを使って必要な時間だけ運転してください。

エアフィルターの清掃はこまめに

エアフィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷・暖房効果を弱めます。

ご使用上の知識

エアコンのご使用にあたっては、次のことをご了解願います。

運転と性能について

暖房能力

●このエアコンはインバーターの働きにより、外気温度が低下すると圧縮機の回転数を上げ、能力の低下を防ぎますが、それでも暖房能力が不足する場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。

自動霜取り運転

●外気温度が低く湿度が高いときに暖房運転を行いますと、室外ユニットに霜がつき、暖房能力が低下します。このようなときはマイコンにより、除霜運転（霜取り）が始まり、暖房がいったん止まります（室内・室外ファンが停止します）。元の運転に戻るまでに約4～15分程度の時間がかかります。除霜運転時は運転ランプ（赤）が点滅します。

●OFF時除霜

暖房運転を止めたとき室外ユニットに霜がついていると、自動的に除霜運転を行います。このとき室内ユニットの運転ランプ（赤）が点滅し、室外ユニットだけが数分間運転した後に止まります。

次回の運転時には、霜なし状態で暖房をスタートさせる快適機能です。

ニオイ軽減機能

●冷房・ドライの自動風量時、室外ユニットの運転よりも遅れて室内ファンが運転を開始したり、室外ユニット停止時に室内ファンが停止したりします。これは室内ユニット内部に吸着したニオイが、風で出てくるのを軽減するためです。

スタートダッシュ機能

●暖房または冷房運転で運転を開始した場合、運転開始から約1時間経過するまでは、お部屋を素早く暖めたり冷やしたりするために、自動的にリモコンの設定温度より暖房時：約2℃高め、冷房時：約1℃低めで運転します（1時間を経過したら、リモコンの設定通りの温度に戻ります）。

温度・湿度の範囲について

ご使用になれる温度・湿度の範囲は、次の表のとおりです。

運転	範囲
冷房運転 低湿度冷房運転	外気温度　約21～43℃ 室内湿度：約80％以下 高い湿度の中で長時間運転すると、エアコン表面に露がつき、滴下することがあります。
ドライ運転	外気温度　約21～43℃ 室内湿度 高い湿度の中で長時間運転すると、エアコン表面に露がつき、滴下することがあります。
快適除湿運転	外気温度　約1℃以上 室内湿度 高い湿度の中で長時間運転すると、エアコン表面に露がつき、滴下することがあります。
暖房運転	外気温度　約24℃以下

●上記使用範囲より高い温度で運転しますと、自動保護装置が働き、運転を停止することがあります。

また、冷房・ドライ運転の場合、上記使用範囲より低い温度で運転しますと、熱交換器が凍り、水漏れなど故障の原因となることがあります。

●エアコンは、お部屋の冷房・暖房・除湿または送風以外の目的にご使用にならないでください。

運転停止時の消費電力（待機時消費電力）

●リモコンで停止したときは、1.5Wの電力を消費します（主電源スイッチが「切」のときは0Wです）。

●リモコンに「速熱」マークが出ており、室温・外気温が低い場合には、機器の保護や温風の吹出しを早めるために、室外ユニットを予熱します。このときは、約40Wの電力を消費します。

各部の名前と働き

正しくお使いいただくために、各部の名前と位置を確認してください。
詳しくは▭内のページをご覧ください。

室内ユニット（本体）

自動開閉パネル（上面）
自動開閉パネル（前面）
マルチパネル

吸込グリル
<自動開閉パネル・マルチパネル>
室内の空気を吸い込むところです。運転の種類に応じて自動開閉パネルとマルチパネルが自動的に動きます。運転を停止すると閉まります。

- ●吸込グリルをはずすことはできません。無理にはずそうとすると、故障の原因となります。
- ●パネルを手で動かさないでください。無理に手で動かすと、故障の原因となったり、吹出口付近に露がつき、水滴が落ちることがあります。
- ●パネルに物を掛けたり、開いた中に物を入れないでください。故障の原因となります。

上下風向板　24
風の上下方向の調節ができます。

左右風向板　24
（上下風向板の裏側）
風の左右方向の調節ができます。

本体表示部　11

電源コード
電源プラグ

主電源スイッチ　14
<待機電力ゼロスイッチ>
運転するときは「入」にします。「切」にすると、リモコン信号の受信待ちのための電力をゼロにすることができます。

空気清浄モニター用センサー
お部屋の空気の汚れを検出するところです。

吸込グリルを開けたとき

集じんユニット　36
タバコの煙や目に見えない細かなホコリを取り除きます。

空清リセット・強制自動ボタン 17
リモコンが使えないときなど応急運転するためのボタンです。また、空清チェック機能（☞36ページ）が働いているときは空清リセットボタンとなります。

エアフィルター　35
ホコリやゴミが内部に入るのを防ぎます。

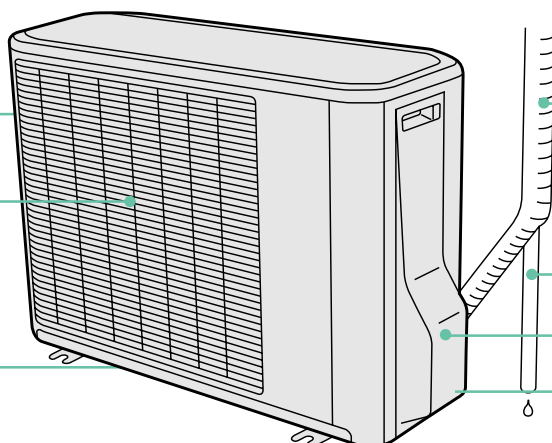
光再生脱臭フィルター 38
（右のエアフィルターの裏側）
お部屋のイヤな臭いを和らげます。

次ページへつづく

室外ユニット

吸込口
（背面、側面）

吹出口
冷房またはドライ運転時には温風が、暖房運転時には冷風が吹き出します。

排水口
（底面）
暖房運転時には水が出ます。

配管と接続電線

ドレンホース
冷房またはドライ運転時に、室内ユニットで除湿した水を排水します。

電装カバー

アース接続用ネジ
（電装カバーの内側）

お願い
室外ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。破損の原因となります。

本体表示部

外気温ランプ（緑）34
温・湿度モニターに外気温度が表示されている場合に点灯します。

リモコン受信部　15
リモコンからの信号を受信するところです。

室温ランプ（緑）　34
温・湿度モニターに室内温度が表示されている場合に点灯します。

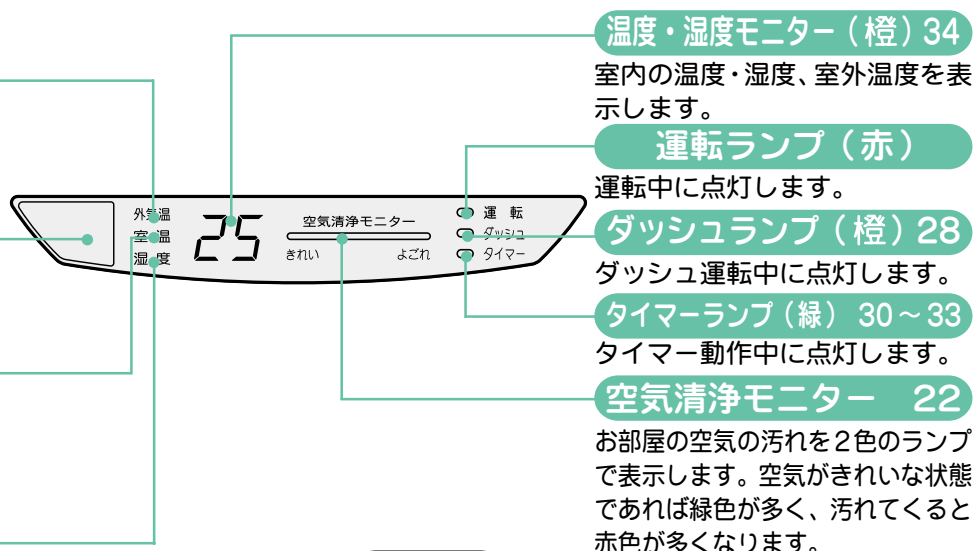
湿度ランプ（緑）　34
温・湿度モニターに室内湿度が表示されている場合に点灯します。

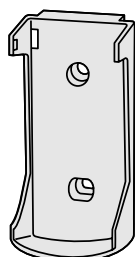
温度・湿度モニター（橙）34
室内の温度・湿度、室外温度を表示します。

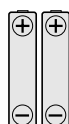
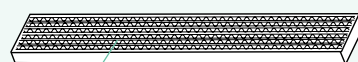
運転ランプ（赤）
運転中に点灯します。

ダッシュランプ（橙）28
ダッシュ運転中に点灯します。

タイマーランプ（緑）30～33
タイマー動作中に点灯します。

空気清浄モニター　22
お部屋の空気の汚れを2色のランプで表示します。空気がきれいな状態であれば緑色が多く、汚れてくると赤色が多くなります。

お知らせ
- 運転ランプとタイマーランプが交互に点灯しているときは、停電などでいったん電源が切れたことを示します。
- 運転ランプとタイマーランプが同時に点滅しているときは、試運転に設定されていることを示します。（☞13ページ）

付属品

リモコン
（1個）
☞12～16ページ

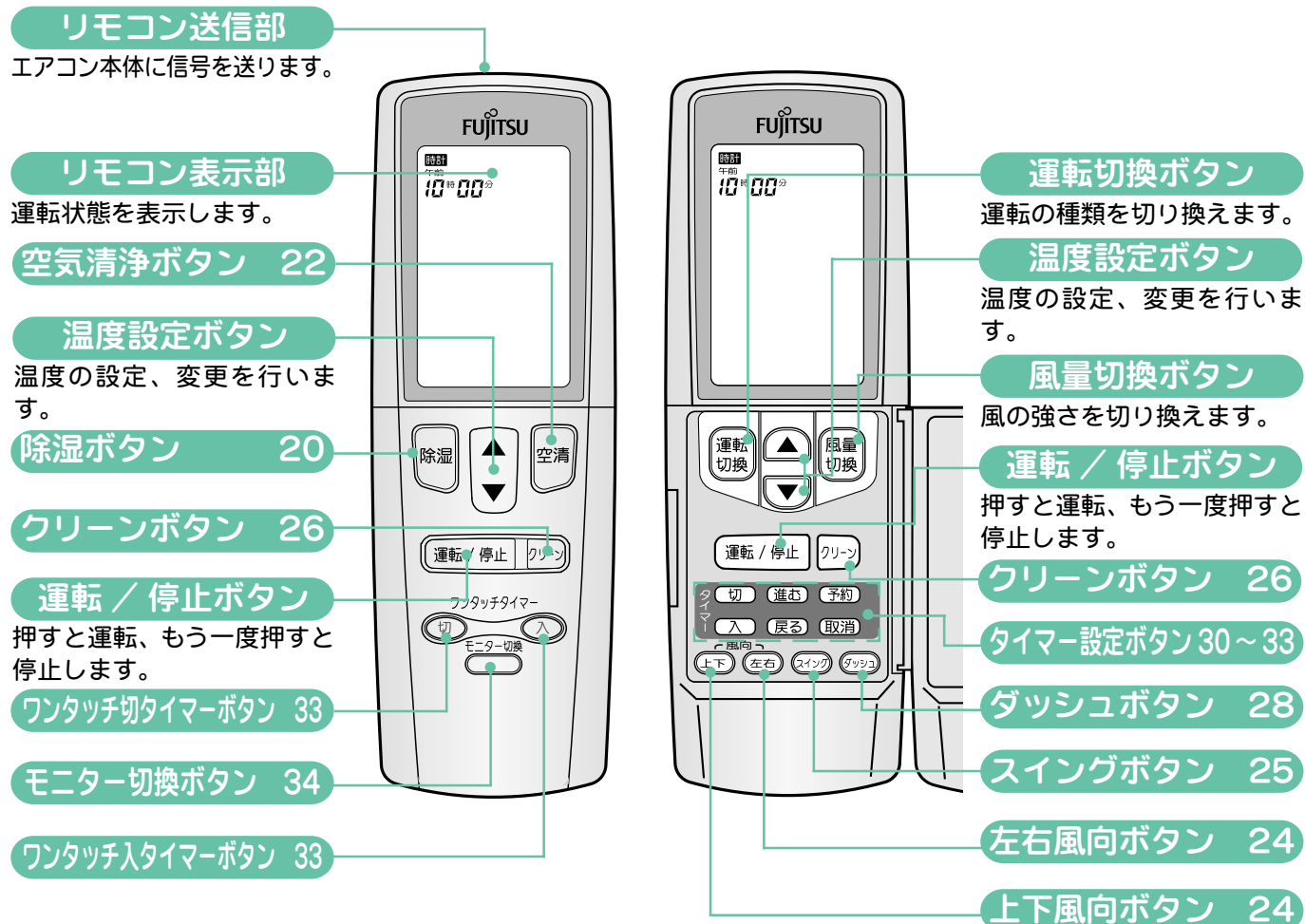
リモコンホルダー
（1個）
☞15ページ

単四形アルカリ乾電池
（2本）

光再生脱臭フィルター

- ご家庭のイヤな臭いを吸着し、和らげます。
- 取付け方は、38ページをご覧ください。

各部の名前と働き（つづき）

運転操作はリモコンで行います。各部の名前と働きを確認してください。
詳しくは　　　　内のページをご覧ください。

リモコン

フタを閉じたとき　フタを開けたとき

リモコン送信部
エアコン本体に信号を送ります。

リモコン表示部
運転状態を表示します。

空気清浄ボタン 22

温度設定ボタン
温度の設定、変更を行います。

除湿ボタン 20

クリーンボタン 26

運転／停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

ワンタッチ切タイマーボタン 33

モニター切換ボタン 34

ワンタッチ入タイマーボタン 33

運転切換ボタン
運転の種類を切り換えます。

温度設定ボタン
温度の設定、変更を行います。

風量切換ボタン
風の強さを切り換えます。

運転／停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

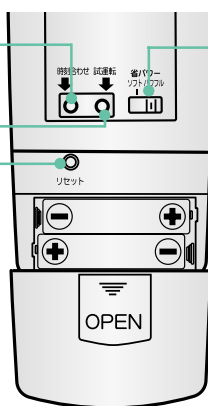
クリーンボタン 26

タイマー設定ボタン 30～33

ダッシュボタン 28

スイングボタン 25

左右風向ボタン 24

上下風向ボタン 24

説明のため全部表示した図になっていますが、実際には、該当するところだけを表示します。

リモコン表示部

現在時刻・切タイマー時刻表示
現在時刻か切タイマーの動作時刻（または時間）を表示します。現在時刻が表示されていれば「時計」が、切タイマー時刻（または時間）が表示されているときは「タイマー」と「切」が表示されます。

スイング表示 25
設定されたスイングモードを表示します。（上下スイング、左右スイング、上下左右スイング、スイング停止）

運転モード表示
設定された運転の種類を表示します。

除湿運転モード表示 20
設定された除湿モードを表示します。（快適除湿、低湿冷房、ランドリー）

温度表示
設定された室温を表示します。

お部屋の状態により、室温と設定した温度が異なる場合があります。

送信表示
本体へ信号を送るときに表示します。

入タイマー時刻表示
入タイマーの動作時刻（または時間）を表示します。このとき「タイマー」と「入」が表示されます。

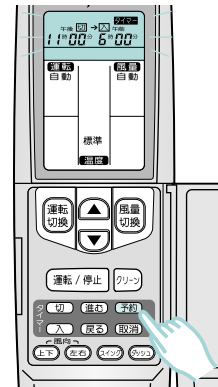
速熱表示 29
速熱暖房に設定した場合に表示します。この表示は、リモコンの運転を停止しても表示したままとなります。

風量モード表示
風量（風の強さ）を表示します。

空清運転モード表示 22
設定された空清運転モードを表示します。（単独空清、強力空清、標準空清、空清停止）

クリーン表示 26
プラズマクリーン運転中に表示します。

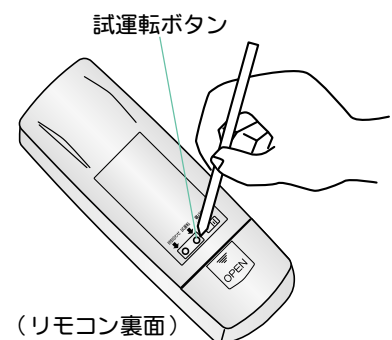
リモコン表示部のバック照明について（そこだけ照明機能）

- リモコンのボタン操作を行うと、操作に関する表示エリアだけが光ります（そこだけ照明機能）。操作内容が確認しやすい便利な機能です。（ただし、運転／停止ボタンによる運転開始時、上下・左右風向ボタン操作時、ダッシュボタン操作時、モニター切換ボタン操作時は、表示部の全ての面が光ります）
- 電池の消耗が気になる場合などは、バック照明の明るさを抑えたり、消しておいたりすることができます。設定のしかたは、16ページをご覧ください。

（例）タイマーを設定したとき

試運転ボタンについて

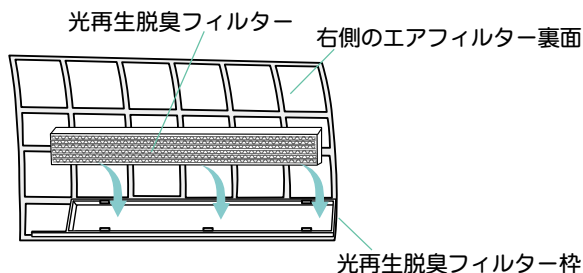
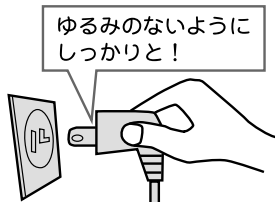
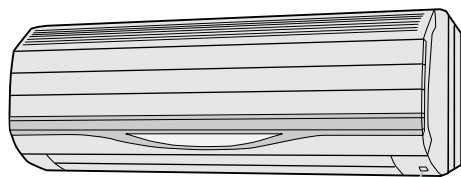
- このボタンは、エアコン据付け時などに使用します。ふだんは使用しないでください。（室温調節機能が働きません）
- 運転中にこのボタンを押すと試運転に設定され、エアコン本体の運転ランプとタイマーランプが同時に点滅します。
- 試運転をやめるときは、運転／停止ボタンを押して運転を停止してください。

強制冷房運転について

- 冷房運転中にこのボタンを押すと、強制冷房運転となり室温に関係なく冷房運転を行います。（室温調節機能は働きません）
- 強制冷房運転は、エアコンを移設する場合など室外ユニットへ冷媒を回収するときに使用します。（ふだんは使用しないでください）

（リモコン裏面）

運転前の準備

本体の準備

1 光再生脱臭フィルターを取り付ける
（☞38ページ）

2 電源プラグをコンセントに差し込む

3 主電源スイッチを「入」にする

●主電源スイッチを「入」にしておくと、エアコンを運転していなくても1.5Wの電気を消費しています（待機消費電力）。こまめに主電源スイッチを切ることで、節電することができます。

⚠警告

電源プラグはホコリが付着していないか確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。

●ホコリが付着していたり、差し込みが不完全な場合やコンセントがゆるい場合は、火災・感電の原因となります。

電源コードの改造や延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。

●火災・感電の原因となります。

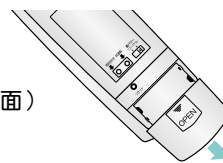
電源プラグの抜き差しや、主電源スイッチの切／入により、エアコンの停止や運転をしないでください。

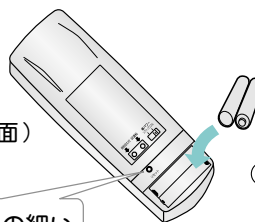
●火災・感電の原因となります。

リモコンの準備

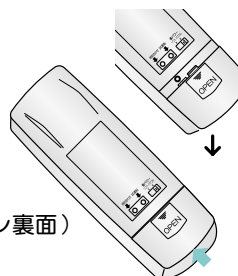
ご使用前にリモコンに電池を入れ、現在時刻（時計）を合わせてください。

電池の入れ方（単四形アルカリ乾電池を２本）

1 裏面の電池ブタを開ける

▼を押しながら矢印の方向に引く。

2 単四形アルカリ乾電池を入れて、リセットボタンを押す

●電池を交換した後の誤動作を避けるため、必ずリセットボタンを押してください。

3 電池ブタを閉める

⚠注意

●幼児が誤って電池を飲み込まないようにご注意ください。
●長期間リモコンを使用しない場合は、電池を取り出してください。電池から液が漏れる場合があります。

＊漏れた液が皮膚に付いたり、目や口に入った場合には、ただちに水で洗い流してください。なお症状によっては医師にご相談ください。

お願い

●新旧、異種の電池を混用しないでください。
●ご使用の頻度にもよりますが、電池の寿命は約1年間です。次の場合は、電池を交換しリセットボタンをボールペンなどの先の細いもので押してください。
＊エアコンに近づかないと受信しない場合
＊リモコンが正しく動作しない場合
＊リモコンの表示部がうすくなり文字が見えにくくなった場合

現在時刻の合わせ方

1 時刻合わせボタンを押す

（リモコン裏面）

<リモコン表示部>

時間表示が点滅します。

ボールペンなどの先の細いもので、押してください。

2 「進む」「戻る」ボタンで時刻を合わせる

（例）午前10時00分
に合わせたとき

進むボタン…時刻を進めるとき
戻るボタン…時刻を戻すとき

1回押すと1分変わり、押し続けると10分ずつ変わります。

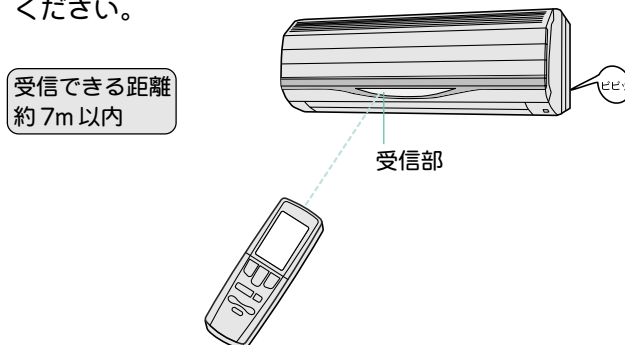
3 時刻合わせボタンをもう一度押す

これで時刻がセットされます。

（リモコン裏面）

時間表示の点滅が
止まります。

リモコンを操作するとき

●リモコンは、受信部に正しく向けて操作してください。
●本体がリモコンからの信号を正しく受けると受信音が鳴ります。
●受信音が鳴らない場合は、再度リモコン操作を行ってください。

お願い

●リモコンと受信部との間にカーテンや壁などがあると信号が届きません。
●受信部に強い光が当たると、エアコンが正しく動作しないことがあります。直射日光をさえぎり、また照明器具を受信部から離してください。
●リモコンは、直射日光や暖房器具などの熱の影響のない所へ置いてください。
●リモコンに強い衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。
●電子式瞬時点灯方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない場合があります。その場合は、販売店にご相談ください。
●リモコンの操作で他のエアコンや電気機器が作動したり、他のリモコンでエアコンが作動する場合は、販売店にご相談ください。
●ご使用の頻度にもよりますが、電池の寿命は約1年間です。次の場合は電池を交換しリセットボタンを押してください。
＊エアコンに近づかないと受信しない場合
＊リモコンが正しく動作しない場合
＊リモコンの表示部がうすくなり文字が見えにくくなった場合

リモコンホルダーを利用するとき

●柱や壁などにリモコンを取り付けておくことができます。
●リモコンからの信号を本体が正しく受信できる位置にホルダーを取り付ければ、リモコンホルダーに入れたまま操作することができます。

1 リモコンホルダーを固定する

ネジ止め

2 リモコンを取り付ける

①リモコン下面の穴にホルダーのツメを差し込む。
②「カチッ」と音がするまで押す。

3 リモコンを取り出す

（手元で使うとき）

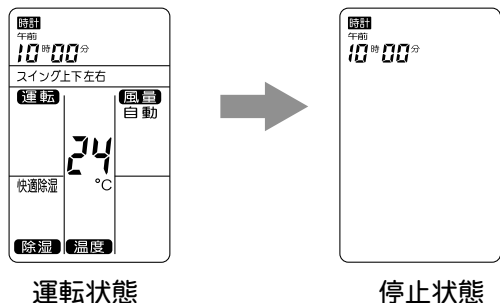
バックライト調整

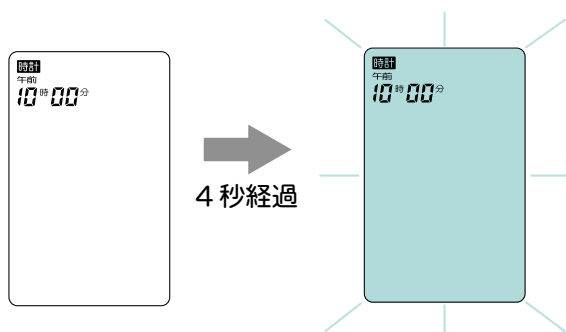
リモコン表示部のバック照明の明るさを変えたいとき

電池の消耗が気になる場合など、バック照明の明るさを抑えたり、消しておきたいときに設定してください。

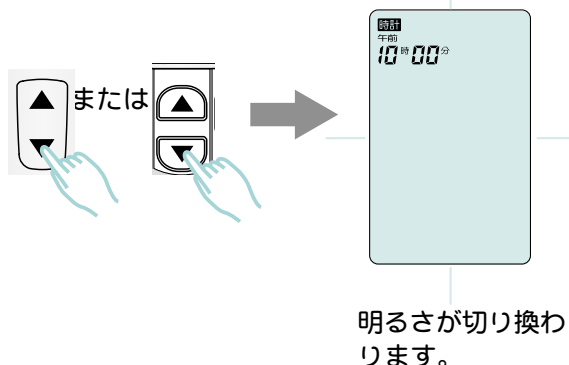
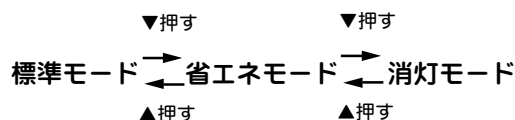
1 リモコンを停止の状態にする

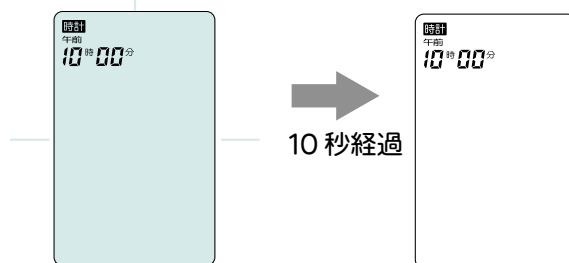
※リモコン停止の状態とは、「時計」と現在時刻のみが表示され、それ以外の表示は消えている状態です。

運転状態となっている場合は、「運転／停止」ボタンで停止の状態にしてください。

運転状態　　停止状態

2 フタを開けて「取消」ボタンを４秒以上押し続ける

バック照明が点灯します。このときの明るさが、一番明るい状態（標準モード）です。

3 温度設定ボタンで明るさを選択する

明るさが切り換わります。

※ボタンを押すごとに明るさのモードが、次のように変更されます（消灯モードのときは、照明が消えます）。

- ●工場出荷時は、「標準モード」に設定されています。
- ●「省エネモード」にすると、バック照明は暗くなります。
- ●「消灯モード」にすると、バック照明は点灯しなくなります。

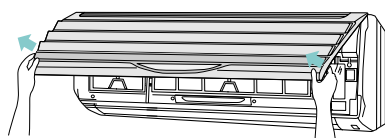
明るさを選択してから約10秒経過後に、選択した明るさに自動的にセットされます。

バック照明がいったん消え、選択した明るさのモードが自動的にセットされます。

- ●お好みの明るさモードをセットした後に電池の交換やリセットボタンを押すと、再び「標準モード」に戻ります。このときは、再度設定をし直してください。

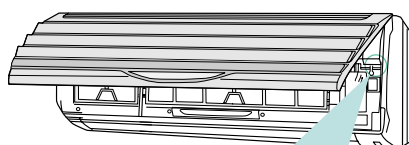
リモコンが使えないとき（応急運転）

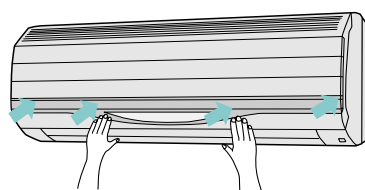
電池が切れたときや、リモコンをなくしたときには、応急的に運転することができます。

1 吸込グリルを開ける

吸込グリルの下部両端に指を掛け、引っかかるところまで手前に引きます。手を離しても、吸込グリルが開いたままとなります。

2 空清リセット・強制自動ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

「自動運転」(☞18ページ)と同じ内容の運転となります。風量は「自動」、風向は「標準」、温度は「標準温度」で運転されます。

3 吸込グリルを閉める

吸込グリルの下側の両端と本体表示部の両端の４ヵ所を押して閉めます。

吸込グリルを開けたまま運転しないでください。故障の原因となります。また、吸込グリルが確実に閉まっていないと、空清運転をしたときに温度・湿度モニターに H7 と表示され、空清運転が停止されます（☞37ページ）。

停止するとき

もう一度、空清リセット・強制自動ボタンを押す

運転が停止し、本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。

お知らせ

●空清リセット・強制自動ボタンを１回押しても運転が開始されない場合は、空清チェック機能（☞36ページ）が働いています（このときは、空清リセットボタンとなっています）。運転を開始するときは、もう１回ボタンを押してください。

運転を停止させ吸込グリルを閉じたとき、自動開閉パネルが開いたままの状態となることがあります。この場合は、吸込グリルを閉めた状態で主電源スイッチをいったん「切」にした後「入」にすれば、正常な状態に戻ります。

HA 端子について

室内ユニットに内蔵された「HA端子」と「JEMA標準HA端子-A」（JEM-A マーク）対応のテレコントローラーを接続することにより、外出先のプッシュホンからエアコンのON・OFFができます。

＊詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

自動・暖房・冷房・ドライ・送風運転

お好みに合わせて運転できます。

自動運転で運転を開始したときは、運転の種類を正確に選ぶために、1分間ごく弱い風で送風を行います。

自動運転

そのときのお部屋の状況に合わせて、運転の種類（暖房・冷房・ドライ）をエアコンが自動的に選択します。

暖房運転

お部屋を暖めたいときにお使いください。

※室温より高い温度に設定しないと、暖房運転になりません。

冷房運転

お部屋を涼しくしたいときにお使いください。

※室温より低い温度に設定しないと、冷房運転になりません。

ドライ運転

ドライ運転は、弱めの冷房です。室温をあまり下げずに除湿優先の運転をしたいときにお使いください。

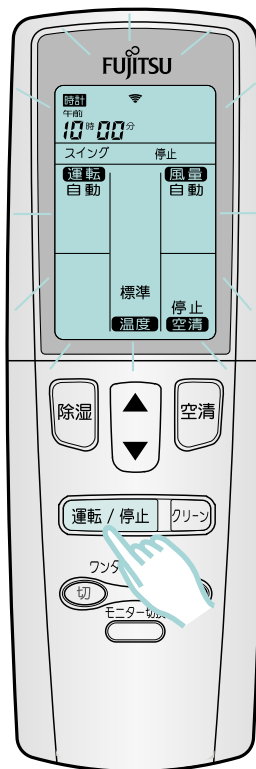
ドライ運転で肌寒く不快な場合は、リモコンの除湿ボタンで快適除湿モードをお使いください。
（☞20ページ）

※室温より低い温度に設定しないと、ドライ運転になりません。

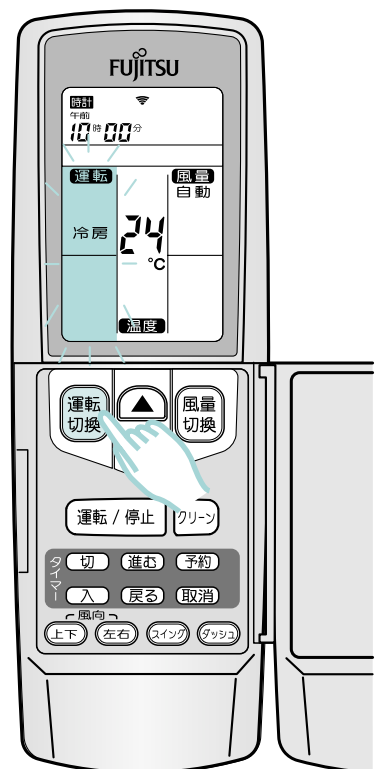
送風運転

お部屋の空気を循環させたいときや、風に当たりたいときなどにお使いください。

1 運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

2 フタを開けて運転切換ボタンで運転の種類を選ぶ

押すごとに切り換わります。

→自動→暖房→送風
　ドライ←冷房←

自動運転について

運転開始したときの室温に合わせて次のように運転の種類と設定温度を自動的に選び運転を始めます。

室温	運転の種類	（標準温度）
30℃以上	冷房	27℃
27℃～30℃	冷房	26℃
24℃～27℃	ドライ	23℃
22℃～24℃	監視運転	
22℃未満	暖房	23℃

- 監視運転になるとごく弱い風で送風運転し、室温が22℃未満に変化すると暖房運転に、24℃以上に変化するとドライ運転に自動的に切り換わります。
- 自動運転を停止した後、2時間以内に再度運転した場合は、停止前と同じ運転内容になります。
- 外気温度や室温により、自動的に設定温度を変化させ快適性を一定に保つことで暖まり不足やムダな暖めすぎ・冷やしすぎを防止します。

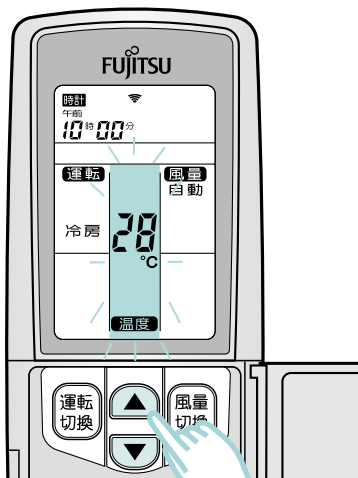
温度を変えたいとき

温度設定ボタンで温度を変える

▲ボタン…温度を上げるとき
▼ボタン…温度を下げるとき

温度設定の範囲

自動運転…「標準温度」に対し、2℃高め、2℃低めの範囲
暖房時……………16～30℃
冷房・ドライ時…18～30℃

送風運転時に温度調節することはできません。

おすすめ温度

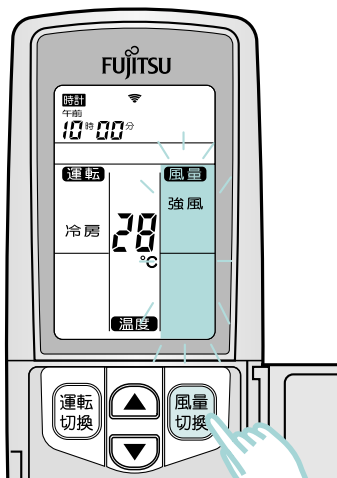
自動時…「標準温度」
暖房時…20～24℃
冷房時…26～28℃

風量を変えたいとき

風量切換ボタンで風量を選ぶ

押すごとに切り換わります。

→自動→強風→弱風→微風→静音

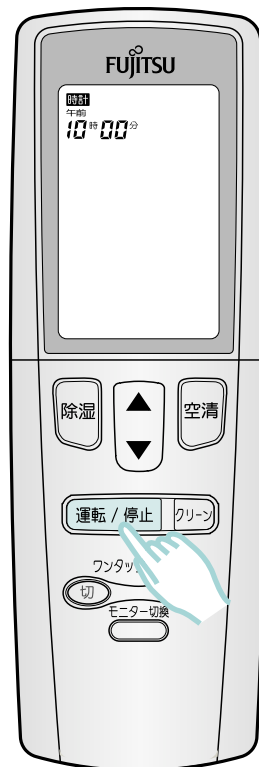
ドライ運転時は、風量の変更はできません。

自動風量について

暖房時…運転開始時は強めの風で運転し、お部屋が暖かくなるにつれて弱めの風で運転します。
冷房時…運転開始時は強めの風で運転し、お部屋が涼しくなるにつれて弱めの風で運転します。
送風時…弱めの風で運転します。

停止するとき

運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。

停止の場合は、バック照明は点灯しません。

運転のしかた

●自動・暖房・冷房・ドライ・送風運転

お知らせ

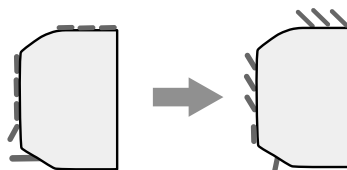
暖房運転について

●暖房運転を開始してから約3～5分間はごく弱い風で運転し、その後設定風量になります。これは、室内ユニットの内部が暖まってから温風を吹き出すようにするためです。
●室外温度が低いとき室外ユニットに霜が付いて暖房能力が低下するため、自動的に霜取り運転を行います。霜取り運転中は運転ランプ（赤）が点滅し、暖房運転を一時的に停止します。（☞9ページ）

ドライ運転について

●除湿優先の弱冷房運転となりますので、室温がお好みの温度まで下がらないことがあります。また、ドライ運転でお部屋を暖めることはできません。

クイック暖房機能

暖房運転開始時は、吹き出す風の温度が低いため、素早く暖かい温風を吹き出すように、自動開閉パネルと風向板を次のように動作させます。

運転開始時
・風向板　　　　：水平
・自動開閉パネル：閉
・マルチパネル　：開

温風が暖まってくると…
・風向板：設定位置（☞24ページ）
・自動開閉パネル：開
・マルチパネル　：閉

除湿モード運転

用途に応じて、３つの除湿運転から選んで設定できます。

快適除湿モード

梅雨どきや秋口など、湿気だけが高く、不快なときにお使いください。
室温が設定温度付近まで近づくと、吹出温度を下げ過ぎない、快適な除湿運転を行います。

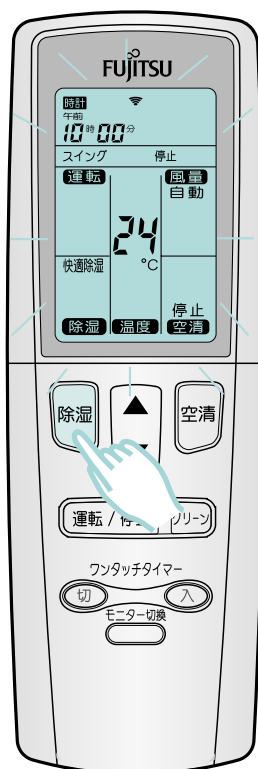
低湿度冷房モード

冷房の冷え過ぎが気になるときにお使いください。
除湿効果が高いため、設定温度が高めでも、快適な冷房運転を行います。

ランドリーモード

お部屋の中でも洗濯物を乾かしたいときにお使いください。
室温・湿度・風量を自動調節して、洗濯物がより早く乾くように、除湿優先の運転を行います。

1 運転中または運転停止中に除湿ボタンを押す

運転停止中に押した場合は、本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

（例）運転停止中に押した場合

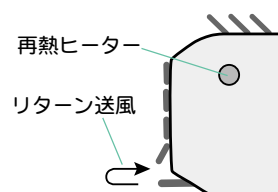
2 除湿ボタンを押して、お好みの除湿モードを選択する

●除湿ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

→快適除湿→低湿冷房→ランドリー→

（例）ランドリーモードを選択した場合

快適除湿モード運転について

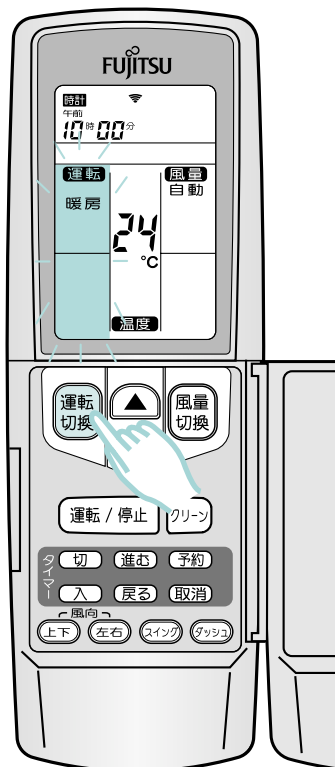
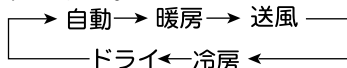
●快適除湿モード運転は、室温が設定温度付近になると自動開閉パネル（☞10ページ）の前面３枚が閉じます。これは、熱交換器を通過する風を緩やかにし、除湿量を高めるためです。
●また、快適除湿モード運転中は、マルチパネル（☞10ページ）を開きます。これは、吹出し空気の一部を吸込み側へ戻すリターン送風を行うことで、除湿効果を高めるためです。
●室温が設定温度に近づくまでは、冷やし気味の除湿運転を行い、設定温度付近になると室内ユニット内部の再熱ヒーターが動作し、吹出し温度を下げ過ぎないようにします。

・上面パネル　：開
・前面パネル　：閉
・マルチパネル：開

除湿モード運転をやめるとき

フタを開けて

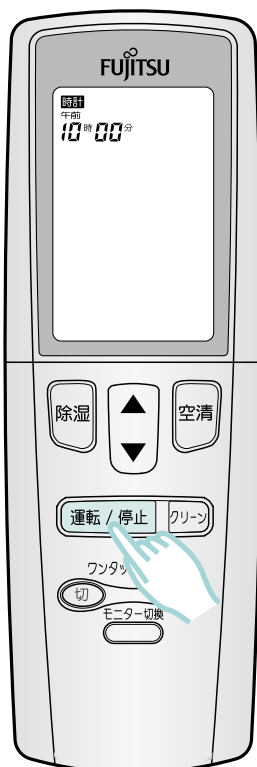
運転切換ボタンを押して通常の運転モードを選択する

●運転切換ボタンを押すごとに、次のように運転モードが切り換わります。

→ 自動 → 暖房 → 送風 → ドライ ← 冷房 ←

（例）暖房を選択した場合

除湿モード中に運転を停止するとき

運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。

お知らせ

●除湿モード運転時は、風量が「自動」となり、変更できません。
●除湿モード運転時は、ダッシュ運転（☞28ページ）を設定することはできません。
●ランドリーモード運転をすると、洗濯物から出た水分によって窓や壁に結露することがあります。

お願い

●エアコンの吸込口（自動開閉パネル）や吹出口に洗濯物を引っ掛けないでください。

低湿度冷房モード運転について

●室温が設定温度に近づくまでは通常の冷房運転を行い、設定温度付近になると、再熱ヒーターを動作させ、除湿効果を高めます。
●低湿度冷房でよく冷えない場合は、通常の冷房運転でお使いください。（☞18ページ）

ランドリーモード運転について

●室温・湿度・風量を自動調整して、洗濯物がより早く乾くように除湿優先の運転を行います。
●ランドリー運転は、3時間の切タイマー運転に自動設定されます（洗濯物が乾くまでの時間は、洗濯物の量などによって異なります）。時間の変更を行いたい場合は、ワンタッチ切タイマーボタンで変更することができます。（☞33ページ）
●ランドリー運転は、洗濯物の乾燥を優先した運転を行うため、お部屋に人がいないときにお使いください。冬にランドリー運転を行うと室温が18～25℃となり、乾燥を早めるために冷たい風を吹き出すことがあります。夏にランドリー運転を行うと、室温が約18℃まで下がることがあります。

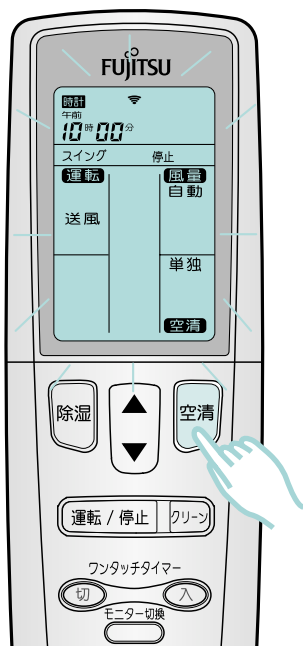
空気清浄運転

●チリ、ホコリ、たばこの煙、花粉などを取り除き、お部屋の空気をきれいにするときにお使いください。
●空気清浄のみの運転と、冷房・ドライ・暖房と合わせた空気清浄運転を行うことができます。

空清のみの運転をするとき

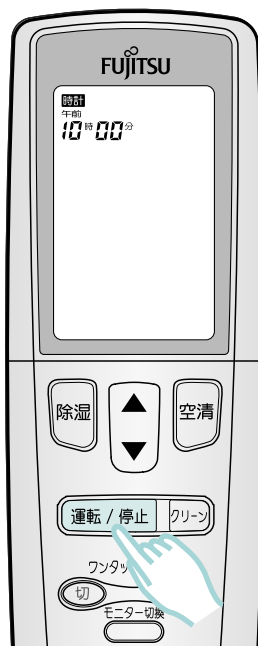
エアコン停止中に空気清浄ボタンを押す

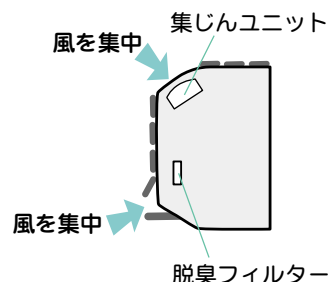
本体表示部の運転ランプ（赤）と空気清浄モニターが点灯します。

●単独空清運転となります。

（例）「単独空清」になっている場合

空清運転を停止するとき

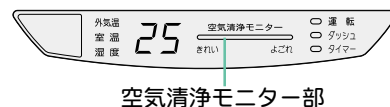
運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。

単独空清運転について

単独空清運転は、マルチパネル以外の自動開閉パネルが閉じます。これは、集じんユニット部と脱臭フィルター部に集中的に風を通過させ、より効果的な空気清浄運転をするためです。

空気清浄モニターについて

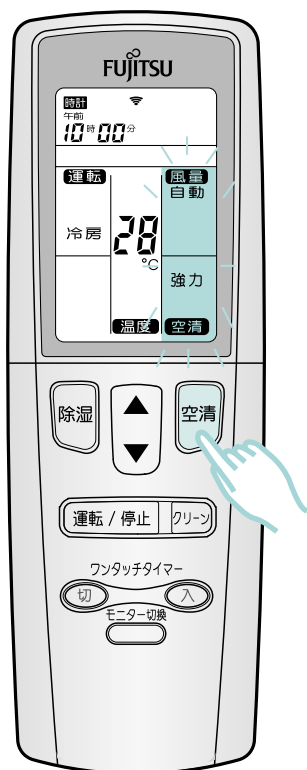
●お部屋の空気の汚れ具合を空気清浄モニター用センサー（☞10ページ）で検知し、空気清浄モニターに表示します。空気がきれいなとき空気清浄モニターはすべて緑色となり、空気が汚れてくるとモニターの赤色部が増えます。

空気清浄モニター部

●電源プラグをコンセントに差し込んだ後や主電源スイッチを「切」から「入」にした後に空清運転を開始した場合は、空気清浄モニター用センサーが約3分間準備運転を行います（リモコンで運転を停止してから6時間以上経過した後も同様です）。このとき、センサーは汚れの検出を行わず、空気清浄モニターはすべて緑色となります。汚れの検出は、3分経過後より開始され、お部屋の空気の状態を表示します。
●空清運転時のお部屋の状態やリモコン操作により、空気清浄モニターの赤色部が多く（または少なく）点灯することがあります。
●プラズマクリーン運転（☞26ページ）終了直後に空気清浄運転を行うと、室内ユニット周囲の温・湿度変化により空気清浄モニターの赤色部が多く点灯することがあります。数分経過し、温・湿度が安定してくると通常の汚れ表示に戻ります。
●空気清浄モニターは、モニター切換ボタンの操作で消すことができます（☞34ページ）。就寝時など、表示がまぶしく感じるときにお使いください。
●空気清浄モニター用センサーは、反応するものとしないものがあります。
反応するもの……たばこの煙、芳香剤、スプレー（殺虫剤、化粧品など）、アルコール（飲酒、料理など）、水蒸気（台所、浴室など）など
反応しないもの…ホコリ、花粉、ダニの死がい、カビの胞子など

エアコンと空清を運転するとき

エアコン運転中に空気清浄ボタンを押す

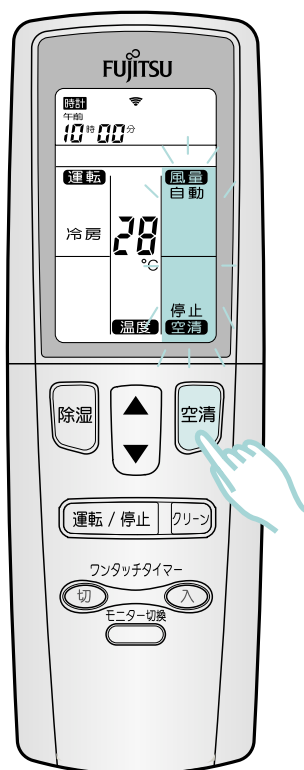
本体表示部の空気清浄モニターが点灯します。

●エアコンと空清の併用運転となります。

(例)「冷房」と「強力空清」の併用運転とした場合

空清運転のみ停止するとき

空気清浄ボタンで「空清停止」を選ぶ

本体表示部の空気清浄モニターとリモコンの空清表示が消えます。

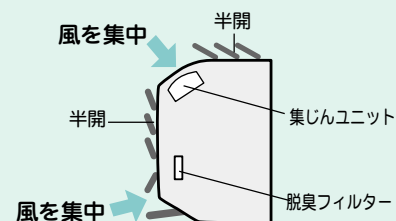
●空清運転のみ停止します。
（エアコンは運転しています）
空気清浄ボタンを押すごとに空清運転の種類が切り換わります。
→強力→標準→停止

エアコン運転も同時に停止するとき

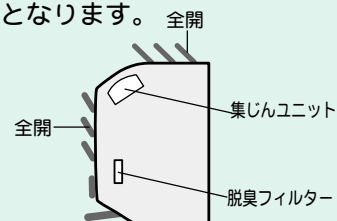
運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）と空気清浄モニターが消えます。

●次回、運転／停止ボタンで運転を再開した場合は、エアコンと空清の併用運転となります。

＊エアコンと空清の併用運転時の自動開閉パネルの動作について

●エアコン運転中に「強力」を選んだ場合、自動開閉パネルは閉じる方向に動き、集じんユニットに風を集中させます。ただし、ダッシュ運転中はパネルがすべて開きます（☞28ページ）。また、「強力」を選んだ場合、マルチパネルが開き、脱臭フィルターに風を集中させます。

●エアコン運転中に「標準」を選んだ場合、自動開閉パネルは動かずにエアコンと空清の併用運転となります。

全開
全開
集じんユニット
脱臭フィルター

空気清浄運転について

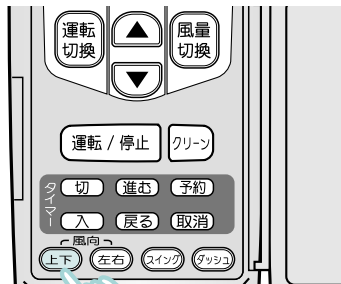
●空清運転時、オゾンがわずかに発生し、ニオイを感じることがあります。
●超音波式加湿器を併用すると、水質によっては白い粉が集じんユニットに付着することがあります。この場合は、お早めに集じんユニットの清掃を行ってください（☞36～37ページ）。
●空清運転では、一酸化炭素やアルコールなどの各種のガスを取り除くことができません。酸素欠乏や窒息を防ぐため運転中はときどき換気を行ってください。
●空清運転中に吸込グリルを開けると、安全装置が働き空清運転を停止します。このとき本体表示部の運転ランプ（赤）とタイマーランプ（緑）が点滅し、温度・湿度モニターに47と表示することがあります。リモコンの運転／停止ボタンで運転を停止し、吸込グリルを閉めてから空清運転を開始してください。
●風量切換ボタンで風量を切り換えることができます（☞19ページ）。空清運転は、風量が強風のとき最も効果が得られます。
●風量が自動の場合、空気清浄モニターの出力に応じて風量が3段階で変化します。室内の空気がきれいになると弱い風で空清運転を行います。
●エアコンと空清の併用運転を行うと、エアコンの冷房または暖房能力は若干低下します。
●空気清浄モニターが点滅した場合は、集じんユニットの洗浄時期のお知らせをしています（空清チェック機能☞36ページ）。

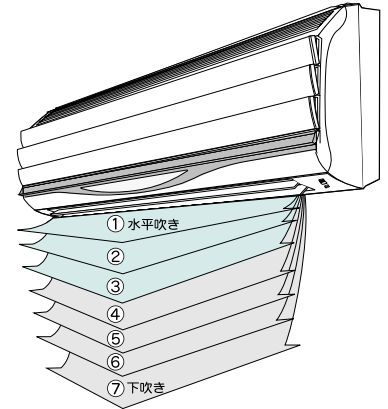
風向調節

●上下・左右風向調節は、リモコンの風向調節ボタンで行います。
●操作は、運転を開始し風向板が停止してから行ってください。

上下風向の調節をするとき

フタを開けて
上下風向ボタンを押す

●上下風向ボタンを押すと次のように上下風向位置が切り換わります。
●お好みの方向に変更することができます。

冷房・ドライの範囲
①②③
暖房の範囲
③④⑤⑥⑦

①水平吹き
②
③
④
⑤
⑥
⑦下吹き

●暖房・冷房・除湿の効果を高めるため、上図の範囲でお使いください。

＊リモコン表示部は変わりません。

左右風向の調節をするとき

フタを開けて
左右風向ボタンを押す

●左右風向ボタンを押すと次のように左右風向位置が切り換わります。

→正面吹き → 右吹き → 正面吹き → 左吹き

●お好みの方向に変更することができます。
●使い始め（電源投入時）は正面吹きに設定されます。

＊リモコン表示部は変わりません。

⚠注意

吹出口の奥に指や棒を入れないでください。

●内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因となることがあります。

お願い

●上下・左右風向板は、必ずリモコンの風向ボタンで操作してください。手で無理に動かすと、正しく動かなくなることがあります。そのときは、いったん運転を停止すると、その後正常に戻ります。
●冷房やドライ運転時または除湿モード運転時、上下風向板を長時間暖房範囲（④⑤⑥⑦）にしないでください。吹出口付近に露が付き、水滴が落ちることがあります。（暖房範囲で30分以上運転を続けると、自動的に③の風向になります）

風向調節について

●上下風向板は、使い始めや、運転モードを変更すると、暖房や冷房など運転の種類に合わせて、次のように自動設定されます。
冷房・ドライ・送風・除湿モード運転：①（水平）
暖房運転：⑥（斜下）
●除湿モード運転時（☞20ページ）は、除湿効果を高めるために上下風向板を自動調節するときがあります。
●ダッシュ運転時（☞28ページ）は、冷・暖房能力を最大限に引き出すために上下風向が自動設定されます。
●暖房運転開始時は、素早く暖かい温風を吹き出すように、一時的に水平吹き①となります。［クイック暖房機能（☞19ページ）］
●リモコンの風向調節ボタンを押して、上下または左右風向板が希望の位置となるまでに多少の時間がかかります。その間、風向調節ボタンを押しても風向調節はできません。
●自動運転の監視運転（☞18ページ）中は水平吹き①となり、風向の調節はできません。
●上下スイング（☞25ページ）に設定されている場合、上下風向ボタンを押しても、上下風向の調節はできません。また、左右スイング中に左右風向ボタンを押しても、左右風向の調節はできません。

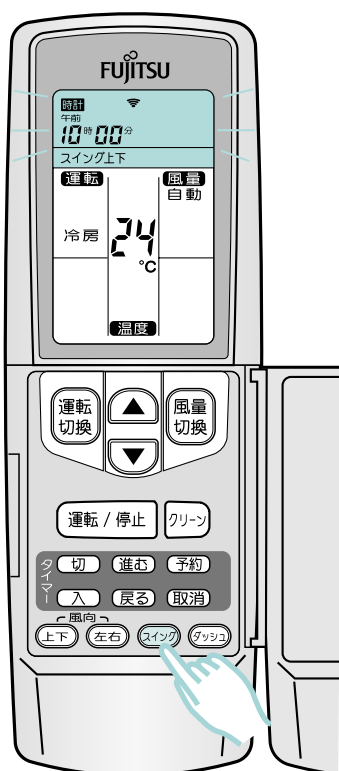
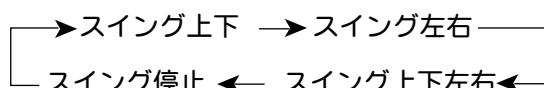
スイング風向

●お部屋のすみずみまで冷風や温風を送りたいときなどにお使いください。
●操作は、運転を開始した後に行ってください。

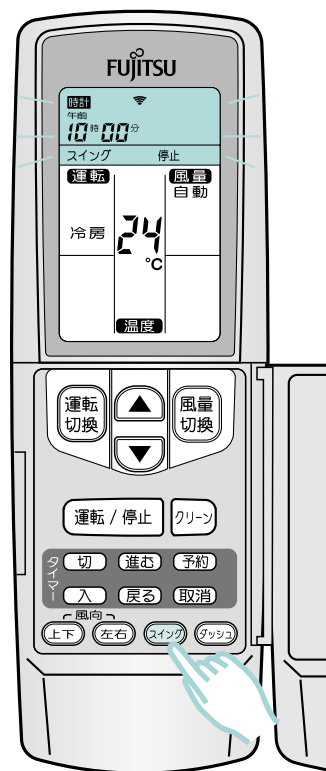
スイング風向をするとき

フタを開けて
スイングボタンを押して、お好みのスイングモードを選択する。

●ボタンを押すごとに次のようにスイングモードが切り換わります（リモコンに表示されます）。

→スイング上下 →スイング左右
スイング停止 ← スイング上下左右←

スイング風向をやめるとき

スイングボタンを押して、「スイング停止」を選択する。

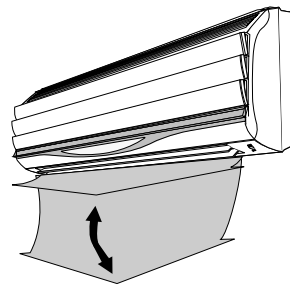
●スイング設定前の風向に戻ります。

「スイング停止」表示は、約３秒後に消えます。

スイング風向について」

●上下スイング：次の範囲で上下にスイングします。

冷房・ドライ・送風・除湿モード運転時　水平①⇔斜め吹③

暖房時　斜め吹③⇔下吹⑦

●左右スイング：左右に約30°ずつスイングします。
●上下左右スイング：上下スイングと左右スイングを組み合わせてスイングします。

お知らせ

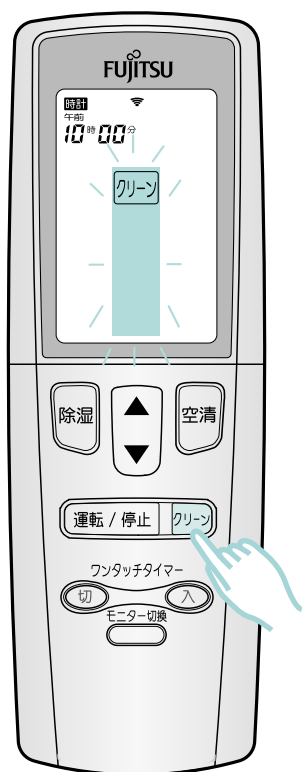
●エアコンから風が出ていないときや、ごく弱い風で運転しているときには、スイングが一時的に止まることがあります。
●スイング中に風向ボタンによる風向の切り換えはできません。

プラズマクリーン運転

●リモコンのクリーンボタンを押すと、室内ユニットの内部を乾燥させ、その後集じんユニットから発生する低濃度のオゾンの働きで、室内ユニット内部のカビや雑菌の繁殖を抑えます。
●プラズマクリーン運転は、クリーンボタンを押してから約30分間行われ、その後自動的に運転が停止されます。

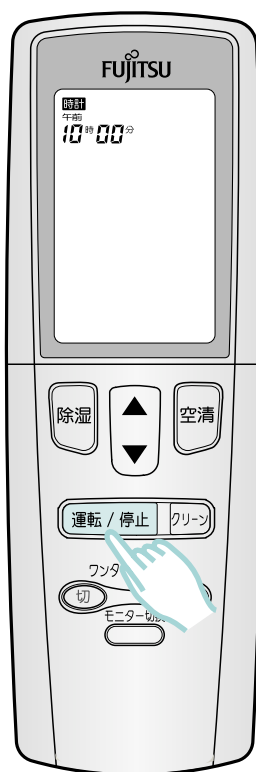
プラズマクリーン運転にするとき

エアコン運転中または停止中に、クリーンボタンを押す

リモコン表示部にクリーン表示が点灯し、約30分経過後消灯します。

プラズマクリーン運転中に再度クリーンボタンを押すと、プラズマクリーン運転が再設定されます。

プラズマクリーン運転をやめるとき

クリーン運転中に運転／停止ボタンを押す

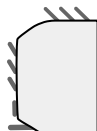
リモコンは、運転停止状態になります。

お知らせ

●プラズマクリーン運転の最初は、微弱暖房運転と送風運転による内部乾燥を行います。このとき室内の温度・湿度が若干上昇します。
●プラズマクリーン運転時、わずかにオゾン臭を感じることがあります。
●プラズマクリーン運転でお部屋の空気をきれいにすることはできません。
●プラズマクリーン運転中に吸込グリルを開けると、安全装置が働き本体の運転ランプとタイマーランプが点滅することがあります。このときは、リモコンの運転／停止ボタンで運転を停止し、吸込グリルを閉めてから再度プラズマクリーン運転を行ってください。
●集じんユニットが汚れるとオゾンの発生量が少なくなり、カビや雑菌の抑制効果が弱くなります。集じんユニットは汚れがひどくならないように、定期的なお手入れをお願いします。（☞36ページ）
●プラズマクリーン運転を複数回行うと、効果はより上がります。

プラズマクリーン運転について

プラズマクリーン運転は、次のように動作し約30分後に自動的に運転を停止します。

①乾燥運転
プラズマクリーン運転開始より約１５分間、室内ユニット内部を乾燥させる運転を行います。

<運転ランプ点灯のまま>
・自動開閉パネル：開
・マルチパネル　：閉
・上下風向板　　：水平

②オゾン運転（約15分間）
集じんユニットから低濃度のオゾンを発生させ、室内ユニット内部のカビや雑菌の繁殖を抑えます。

<運転ランプ点灯のまま>
・自動開閉パネル：閉
・マルチパネル　：開
・上下風向板　　：水平

③運転停止
運転は終了です。

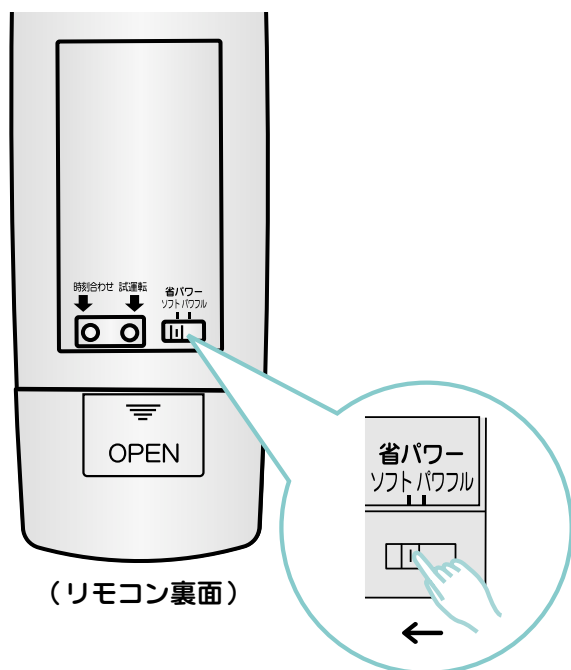
<運転ランプ消灯>
・自動開閉パネル：閉
・マルチパネル　：閉
・上下風向板　　：閉

省パワー運転

●エアコンのパワーをパワフル・ソフトの２段階に切り換えることができます。
●ソフト運転は１時間あたりの電気代を低く抑えた運転を行います。電気代節約にお役立てください。

ソフト運転にするとき

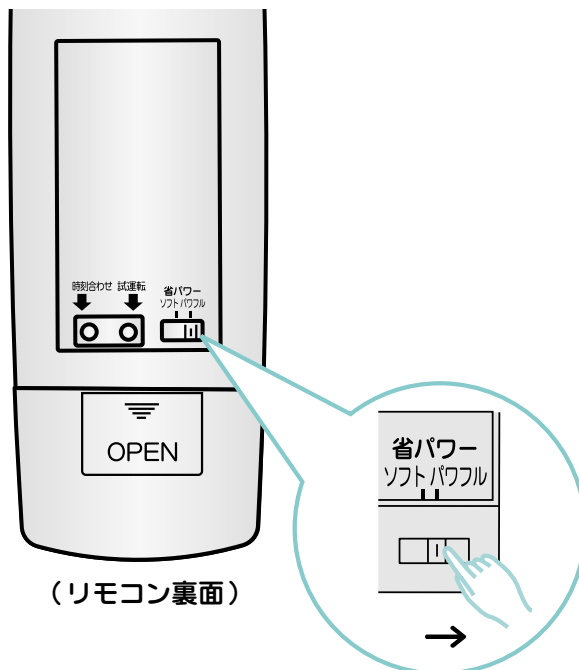
リモコン裏面の省パワースイッチを「ソフト」にする

●ソフト運転になります。

（リモコン裏面）

パワフル運転に戻すとき

リモコン裏面の省パワースイッチを「パワフル」にする

●通常の運転に戻ります。

（リモコン裏面）

省パワー運転について

●パワフル（通常運転）
パワフルな運転を行います。
通常はこの設定でお使いください。
●ソフト
冷房時は１時間あたり約 10 円、暖房時は１時間あたり約 15円以下で運転を行います。（冷・暖房能力はパワフル時の約 70％になります）
＊冷房運転時にソフト運転を行うと、除湿効果を高めた運転を行います。梅雨どきなど、室温をあまり下げずに湿気を取り除きたいときに便利です。

＊ソフト運転では、ムダな暖めすぎや冷やしすぎのないよう、外気温度などにより設定温度を自動的に変化させる経済的な運転を行います。

●ソフト運転でよく暖まらない（よく冷えない）場合には、パワフル運転でお使いください。
●自動運転における監視運転中は、省パワースイッチでソフト運転にしても運転状態は変化しません。
●冷房時のソフト運転中は、除湿効果を高めるために室内ファンが停止することがあります。

ダッシュ運転

●夏のお風呂あがりや冬の帰宅時など、素早く冷やしたり暖めたいときにお使いください。
●操作は、運転を開始した後に行ってください。

ダッシュ運転をするとき

1 自動・暖房・冷房・ドライ・送風のいずれかで運転を開始する。

18～19ページに従って、運転を開始してください。

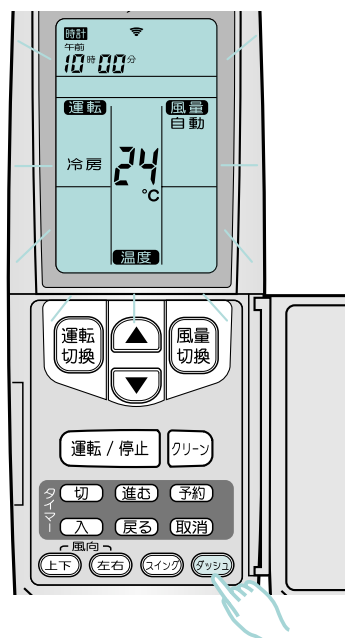
本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

（すでに運転しているときは、そのまま２へ）

（例）「冷房」になっている場合
＊除湿モード運転時にダッシュ運転はできません。

2 フタを開けて ダッシュボタンを押す

本体表示部のダッシュランプ（橙）が点灯します。

●ダッシュ運転になります。

＊リモコン表示部は変わりません。

ダッシュ運転をやめるとき

もう一度、ダッシュボタンを押す

本体表示部のダッシュランプ（橙）が消えます。

●通常の運転に戻ります。

ただし、以下の状態になった場合はダッシュ運転を自動的に解除します。

・暖房運転時
　室温が設定温度より2℃高くなった場合
・冷房・ドライ運転時
　室温が設定温度より1℃低くなった場合、またはダッシュ運転を設定してから30分間経過した場合
・送風運転時
　ダッシュ運転を設定してから15分間経過した場合

ダッシュ運転について

暖房の場合

●運転開始直後にダッシュボタンを押した場合、15分間「真下吹出し運転」となり、最大パワーでエアコン付近の足もとを暖めます。その後風向角度が自動的に切り換わり、お部屋全体をムラなく暖めます。
●運転を開始してから15分以降にダッシュボタンを押した場合は、真下吹出し運転は行わず、最大パワーでお部屋全体をムラなく暖めます。
●ダッシュ運転中は、パワフルな暖房運転を優先するので、空清運転モードにかかわらず自動開閉パネルはすべて開きます。

冷房・ドライの場合

●風量のパワーが最大になり、設定温度 -1℃までお部屋を一気に冷やします。
●ダッシュ運転中は、パワフルな冷房運転を優先するので、空清運転モードにかかわらず自動開閉パネルはすべて開きます。

送風の場合

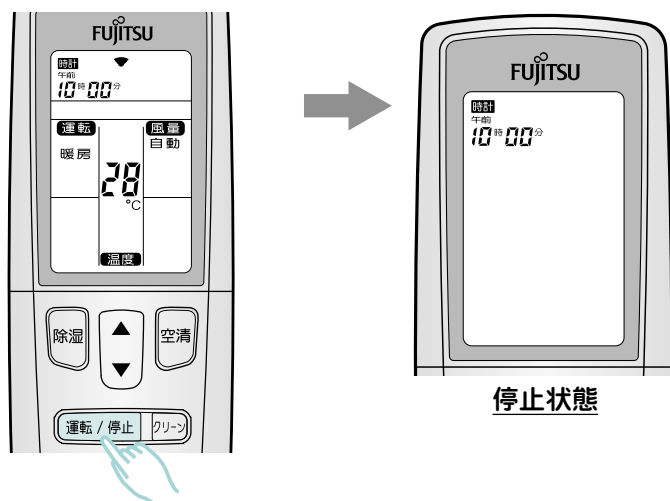
●室内ユニットの風量をアップします。
●強力空清運転時には、空気清浄効果を上げるため、自動開閉パネルはすべて閉じ、マルチパネルは開きます。

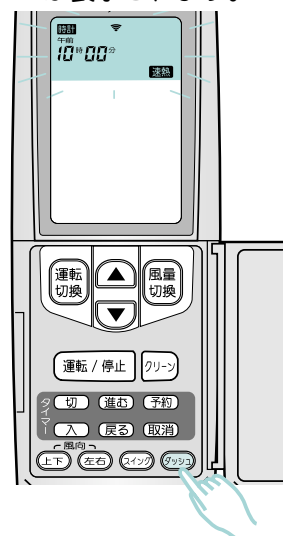
●ダッシュ運転中の風向と風量は自動設定されます。風向がお好みに合わないときは、風向調節ボタンで変更することができます。（☞24ページ）
●除湿モード運転（☞20ページ）時は、ダッシュ運転を設定することはできません。
●リモコン裏面の省パワースイッチ（☞27ページ）が「ソフト」側になっていても、ダッシュが優先されます。
●自動運転における監視運転中は、ダッシュボタンを押しても運転状態は変化しません。

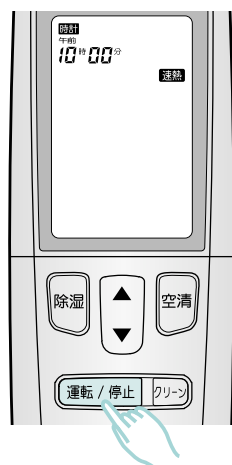
速熱暖房

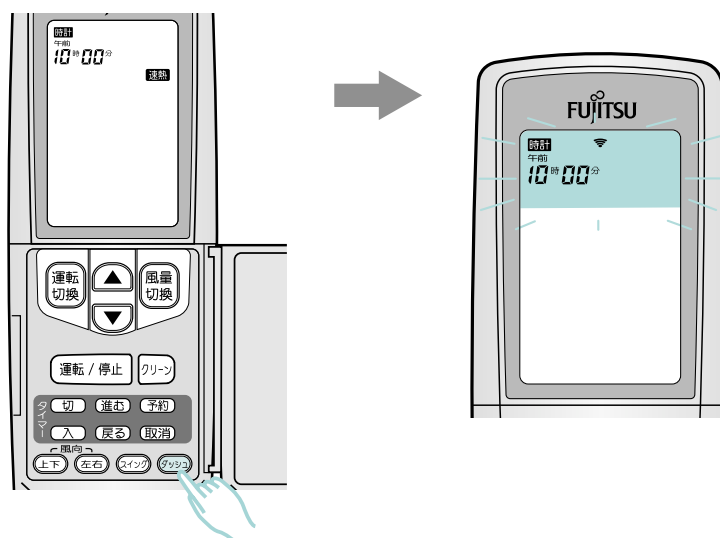
●屋外がマイナス温度となる寒い日でも、より早く温風が吹き出すように作用します。
●速熱暖房に設定すると、リモコンで運転を停止していても、室外ユニットで約40Wの電力を消費することがあります。

速熱暖房に設定するとき

1 暖房運転中に
運転／停止ボタンで運転を停止する

2 リモコンを本体に向けて
ダッシュボタンを押す

●リモコン表示部に「速熱」が表示されます。

速熱暖房をやめるとき

1 速熱暖房運転中に
運転／停止ボタンで
運転を停止する

2 リモコンを本体に向けて
ダッシュボタンを押す

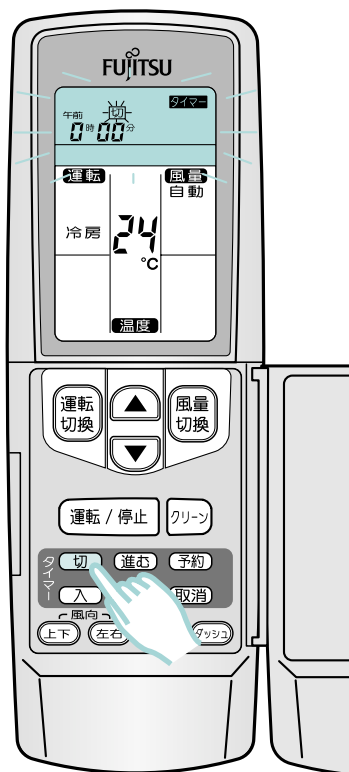
●リモコン表示部の「速熱」が消えます。

速熱暖房について

●速熱暖房は、エアコンが停止しているときに圧縮機を予熱し、暖める機能です。
●外気温度が高い場合は、速熱暖房に設定していても圧縮機への予熱は行いません。
●速熱暖房に設定されている状態で、運転モードを「暖房」以外に変更すると、速熱暖房は自動的に解除されます。（リモコン表示部より「速熱」表示が消えます）

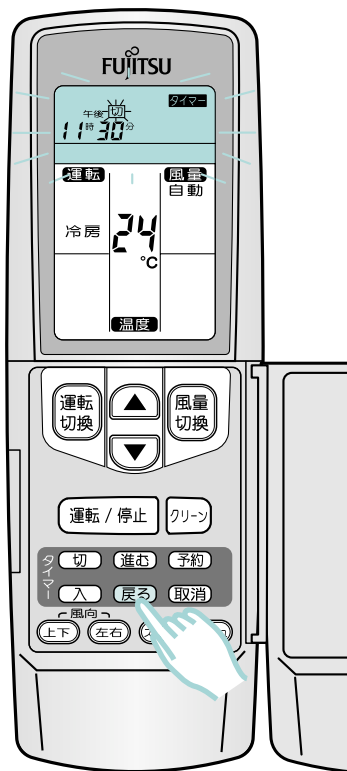
切タイマー

設定した時刻に、エアコンの運転を停止します。（例えば午後 11 時 30 分に停止させるとき）
●操作は、エアコンの運転を開始した後に行ってください。
●操作は、現在時刻が合っていることを確認したうえで行ってください。

1 フタを開けて 切タイマーボタンを押す

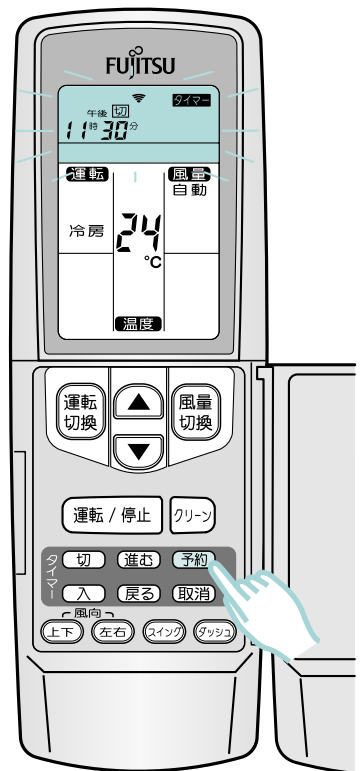
タイマー表示部の切マークが点滅し、左側の時刻表示が、現在時刻から切タイマー時刻に変わります。（時計は消えます）

（例）「冷房」になっている場合

2 「進む」「戻る」ボタンを押して、ご希望のタイマー時刻に設定する

時刻表示部が操作に応じて変更されます。

「切↔入」が表示されているときは、切タイマーではありません。

3 リモコンを本体に向けて「予約」ボタンを押す

切マークの点滅が止まり、信号が発信されます。

本体のタイマーランプが点灯し、切タイマーが動作します。

（例）午後 11 時 30 分に設定した場合

タイマー時刻を変更するとき

1・2・3 の操作を行う

●受信音が鳴り、切タイマー時刻が変更されます。

タイマーを取り消すとき

リモコンのフタを開けて、取消ボタンを押す

●現在時刻表示（「時計」）に戻り、本体に信号が発信されます。

タイマー動作中に運転を停止するとき

運転 ／ 停止ボタンを押す

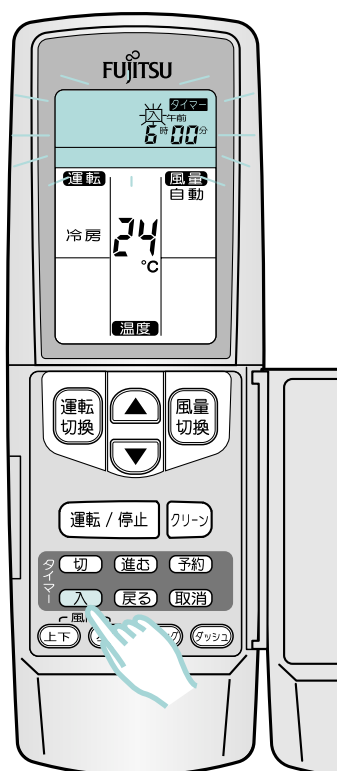
切タイマーについて

●設定した時刻になると運転を停止します。
●おやすみになるときなどにお使いください。

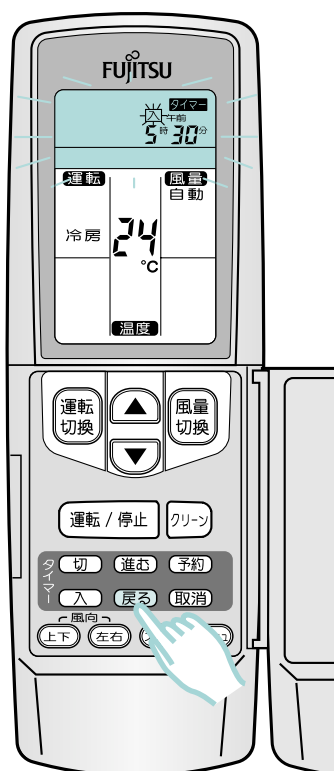
入タイマー

設定した時刻に、エアコンの運転を開始します。（例えば午前５時30分に運転を開始させるとき）
●操作は、エアコンの運転を開始した後に行ってください。
●操作は、現在時刻が合っていることを確認したうえで行ってください。

1 フタを開けて入タイマーボタンを押す

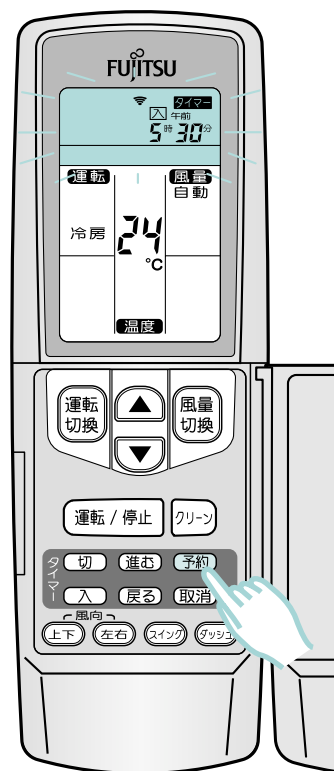
タイマー表示部の[入]マークが点滅し、右側の入タイマー時刻表示が、点灯します。
尚、左側の現在時刻表示（時計）は消えます。

（例）「冷房」になっている場合

2 「進む」「戻る」ボタンを押して、ご希望のタイマー時刻に設定する

時刻表示部が操作に応じて変更されます。

「切↔入」が表示されているときは、入タイマーではありません。

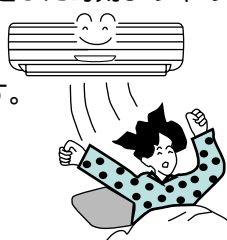
3 リモコンを本体に向けて「予約」ボタンを押す

[入]マークの点滅が止まり、信号が発信されます。

本体のタイマーランプが点灯し、入タイマーが動作します。（エアコンの運転が停止します）

（例）午前５時30分に設定した場合

入タイマーについて

●設定した時刻にお部屋が快適な温度になるように、設定した時刻より早めに運転を開始します。
●お目覚めになるときなどにお使いください。
●夏は暑いほど、冬は寒いほど早めに運転を開始します。

「暖房」のときは…………………45～10分前
「冷房」・「ドライ」のときは…20～10分前
「送風」のときは…………………設定した時刻

タイマー時刻を変更するとき

1・2・3の操作を行う

●受信音が鳴り、入タイマー時刻が変更されます。

タイマーを取り消すとき

リモコンのフタを開けて、取消ボタンを押す

●現在時刻表示（「時計」）に戻り、本体に信号が発信されます。

タイマー動作中に運転を停止するとき

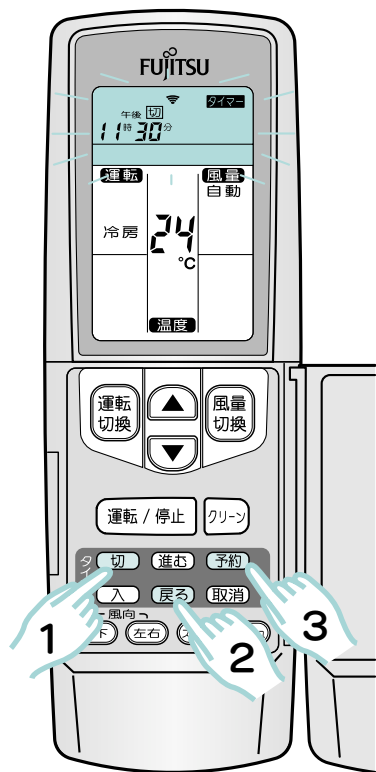
運転／停止ボタンを押す

切・入プログラムタイマー

「切タイマー」と「入タイマー」を組み合わせた運転をするときに設定します。（24 時間以内の設定）
（例えば切タイマーを午後 11 時 30 分、入タイマーを午前 5 時 30 分に設定する場合）
●操作は、エアコンの運転を開始した後に行ってください。
●操作は、現在時刻が合っていることを確認したうえで行ってください。

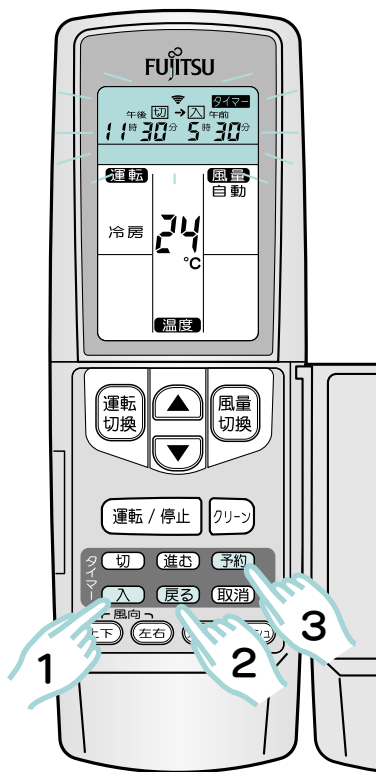
1 フタを開けて「切タイマー」を予約する

30ページの1～3の操作を行い、切タイマーを予約してください。

本体のタイマーランプが点灯します。

2 続けて「入タイマー」を予約する

31ページの1～3の操作を行い、入タイマーを予約してください。

●プログラムタイマーがセットされ、信号が発信されます。

本体のタイマーランプは点灯したままです。

タイマー時刻を変更するとき

1 変更したい方のボタン(「入」または「切」ボタン)を押す

●変更したい方のタイマー表示（入または切）のみ点滅します。

2 「進む」「戻る」ボタンで時刻を選択する

3 リモコンを本体に向けて「予約」ボタンを押す

●タイマー表示（入または切）の点滅が止まり、信号が発信されます。

タイマーを取り消すとき

■切・入プログラムタイマーを取り消すとき

リモコンを本体に向けて「取消」ボタンを押す

●入・切タイマーが同時に取り消され、現在時刻表示（時計）に戻ります。

■切・入タイマーのどちらか一方だけ取り消すとき

1 取り消したい方のタイマーボタン(「入」または「切」ボタン）を押す

●取り消したい方のタイマー表示（切または入）が点滅します。

2 リモコンを本体に向けて「取消」ボタンを押す

本体のタイマーランプは点灯のままです。

●一方のタイマーのみ取り消されます。

プログラムタイマーについて

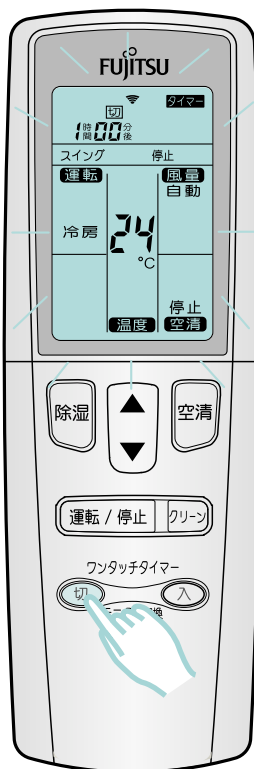
●「切タイマー」と「入タイマー」を組み合わせた運転を1回だけ行います。（切→入または入→切のどちらかを1回）
●切タイマーと入タイマーの設定時刻のうち、現在時刻に近いタイマーから先に動作します。動作する順序は、リモコン表示部に矢印で表示されます。（切→入または切←入）
●「ワンタッチタイマー」と「切タイマー」「入タイマー」を組み合わせることはできません。
●現在時刻から 24 時間を超えた時刻でのプログラムタイマー設定はできません。

ワンタッチタイマー

●エアコンが運転中、停止に関わらず、このボタンを押すとワンタッチで切タイマーまたは入タイマーに設定することができます。
●ワンタッチタイマーの動作時間は、現在からの経過時間（例えば１時間後）により設定されます。

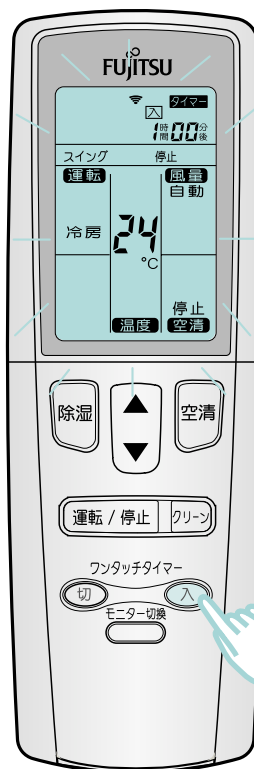
ワンタッチ切タイマー運転のしかた

リモコンを本体に向けて
ワンタッチ切タイマーボタンを押す

本体表示部のタイマーランプが点灯します。

（例）運転停止中にワンタッチ切タイマーボタンを押したとき

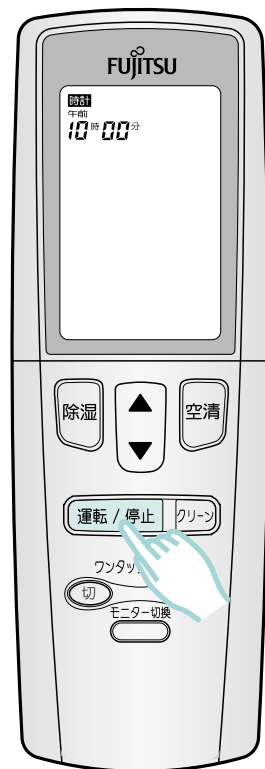
ワンタッチ入タイマー運転のしかた

リモコンを本体に向けて
ワンタッチ入タイマーボタンを押す

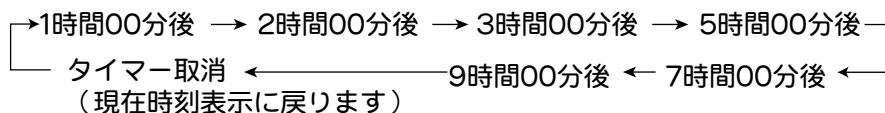
本体表示部のタイマーランプが点灯し、運転が停止します。

（例）運転停止中にワンタッチ入タイマーボタンを押したとき

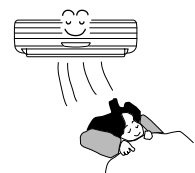
タイマー動作中に運転を停止するとき

リモコンを本体に向けて
運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプが消えます。

タイマー時間の変更とタイマー取消のしかた

ワンタッチ切タイマーボタンまたはワンタッチ入タイマーボタンを押すごとに、タイマーの設定時間が切り換わります。

→1時間00分後 → 2時間00分後 → 3時間00分後 → 5時間00分後
タイマー取消 ← 9時間00分後 ← 7時間00分後
（現在時刻表示に戻ります）

ワンタッチタイマーについて

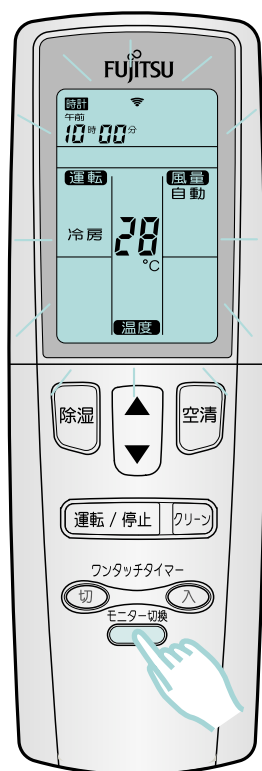
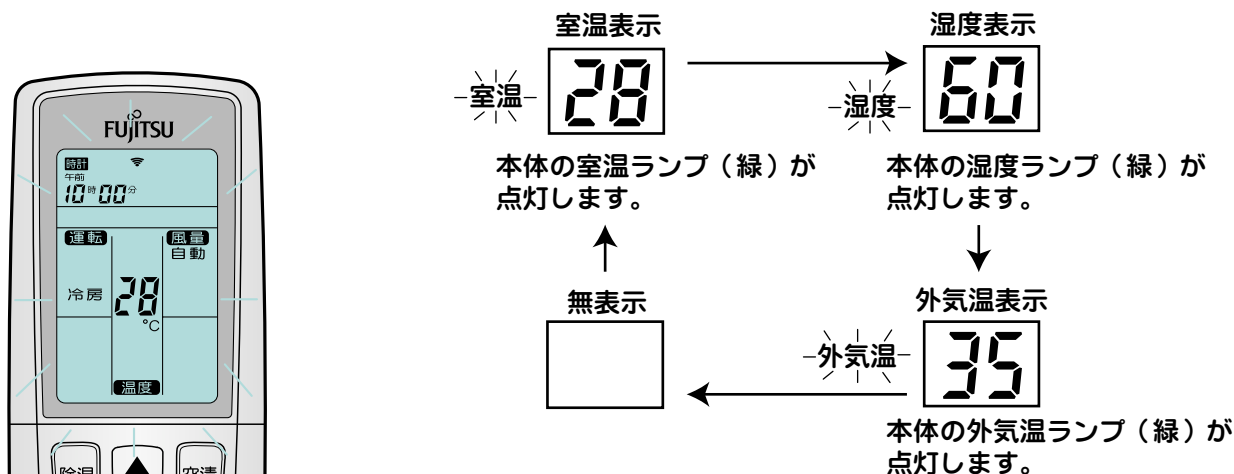
●タイマー動作後のリモコンの時間表示は、５分ごとの残時間表示を行います。
●扉内の時刻タイマー（30～31ページ）と組み合わせることはできません。
●ワンタッチ切タイマーとワンタッチ入タイマーを組み合わせることもできません。

温度・湿度モニター

●室内の温度・湿度と屋外の温度が表示できます。運転の種類や温度設定の目安としてください。
●操作は、運転を開始した後に行ってください。

本体の温度・湿度モニターを切り換えるとき

運転中に、モニター切換ボタンを押す

＊リモコン表示部は変わりません。

●モニター切換ボタンを押すごとに、本体表示部の温度・湿度モニターが次のように切り換わります。（湿度表示と外気温表示は、順序が入れ替わる場合があります）

●電源プラグ差し込み時や、主電源スイッチを「切」から「入」とした後の最初の運転開始時は、室温表示となります。お好みにより、室温・湿度・外気温のいずれかを表示させてください。
●湿度表示または外気温表示を選んだ場合は、10秒間その表示を行なった後、室温表示に戻ります（湿度ランプまたは外気温ランプは消灯します）。
●温度・湿度モニターを消しておきたいときは、モニター切換ボタンで無表示を選んでください。空気清浄運転（☞22～23ページ）を行っている場合は、空気清浄モニターも消灯します。就寝時など表示がまぶしく感じるときにお使いください。

温度・湿度モニターについて

●表示される温度は、室内・室外ユニットの吸込空気温度です。湿度は室内ユニットの吸込空気の湿度です。従って、室内・室外ユニットの据付け状態や運転状態などにより、実際の気温や湿度と異なる場合があります。目安としてお使いください。
●暖房または冷房運転開始から約１時間は、スタートダッシュ機能（☞9ページ）が動作しているために室温表示がリモコンの設定温度より暖房時は高め、冷房時は低めに表示されます。
●運転中の外気温度は、室外ユニットから吹き出す風や熱交換器の温度の影響により、冷房・ドライ時は実際の気温よりも高めに、暖房時は低めに表示することがあります（特に室外ユニットの据付けスペースが狭い場合、冷房・ドライ時は外気温度は実際の気温より高く表示されます）。
●運転開始から１分間は、温度・湿度検出を行っているため、表示はできません。この場合、--と表示されます。
●表示できる温度は、室内・外とも -9℃～45℃です。温度が -9℃未満の場合は-9、45℃を超える場合は45と表示します。
●表示できる湿度は、30～75%です。湿度が30%未満の場合は30、湿度が75%以上の場合は75と表示します。
●入タイマー中（☞31ページ）など、エアコンが運転停止状態である場合は、モニター切換ボタンを押しても、温度は表示されません（信号を受け付けません）。

お手入れのしかた

●こまめなお手入れがエアコンを長持ちさせ、冷・暖房効果を高めます。
●お手入れの前には、必ずリモコンで運転を停止し、電源プラグを抜くか主電源スイッチを「切」にしてください。

⚠注意

掃除をするときは、必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

●内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因となることがあります。

吸込グリルを開けたときに内部の金属部（熱交換器）に触らないでください。

●ケガの原因となることがあります。

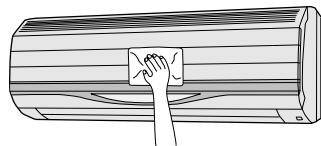
掃除の際、不安定な台に乗らないでください。

●転倒などによるケガの原因となることがあります。

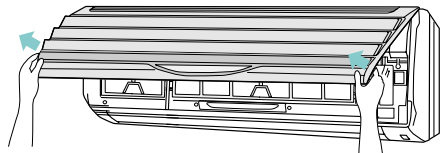
吸込グリルをはずさないでください。

●吸込グリルをはずすことはできません。無理にはずすと、故障や落下によるケガの原因となることがあります。

吸込グリルの清掃

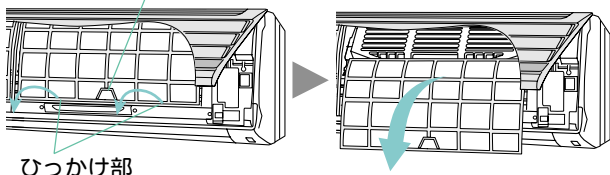
●ホコリを掃除機で吸い取り、水かぬるま湯でふき、その後柔らかい布でからぶきをする。

エアフィルターの清掃

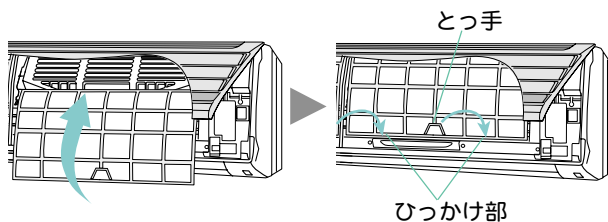
1 吸込グリルを開けて、エアフィルターを取りはずす

①グリルの下部両端に手を掛け、引っかかるところまで手前へ引く。（手を離してもグリルは開いたままとなります）

②エアフィルターのとっ手を持って持ち上げ、下部のひっかけ部（右側：2ヵ所、左側：2ヵ所）をはずし、引き出す。

2 ホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする

●水洗いの後は日陰でよく乾かす。
※右側のエアフィルターを水洗いする場合は、必ず裏面の脱臭フィルターを取りはずしてください。

●エアフィルターにホコリがたまると風量が減り、能力が低下したり運転音が大きくなったりします。
●シーズン始めには必ず清掃し、使用期間中は2週間を目安に清掃してください。

3 エアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉める

①本体の奥に止まるところまで差し込み、下部のひっかけ部をパネルの穴にハメ込む。

②グリル下側の4ヵ所を押して、吸込グリルを確実に閉める。吸込グリルが確実に閉まっていないと、空清運転をしたときに温度・湿度モニターに[47]と表示され、空清運転が停止されます。（☞37ページ）

吸込グリルを開閉したとき、自動開閉パネルが開いたままの状態となることがあります。この場合は、吸込グリルを閉めた状態で主電源スイッチをいったん「切」にした後「入」にすれば、正常な状態に戻ります。

お手入れのしかた（つづき）

集じんユニットの清掃

空清チェック機能について

●本体表示部の空気清浄モニターを点滅させて、集じんユニットのお手入れの時期をお知らせする機能です。
・空気清浄モニターの点滅が遅い（約４秒間に１回）場合
約400時間、空清運転をすると点滅します。
集じんユニットのお手入れをおすすめしています。なるべく早くお手入れしてください。
・空気清浄モニターの点滅が早い（約２秒間に１回）場合
約500時間、空清運転をすると点滅します。
空清運転を停止しています。集じんユニットのお手入れをしてください。

●６ヵ月ごとを目安にしてください。
●「シャー・ジー・パチパチ」音がしたときは、空気清浄モニターが点滅していなくてもお手入れの時期です。

準備
●リモコンで運転を停止する。
●空清チェック機能が働いている場合は、吸込グリルを開けて空清リセット・強制自動ボタンを押す。
●電源プラグを抜く、または主電源スイッチを「切」にする。

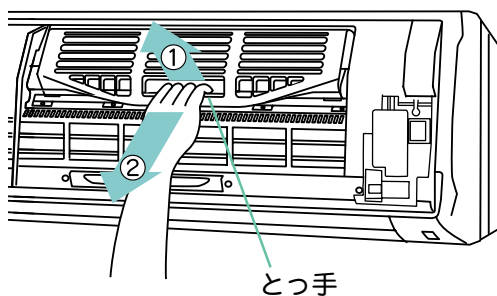
1 吸込グリルを開ける

エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35ページ）

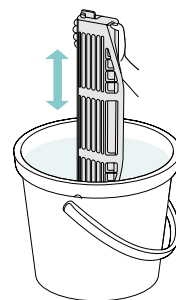
2 右側のエアフィルターを取りはずす

エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35ページ）

3 集じんユニットを取りはずす

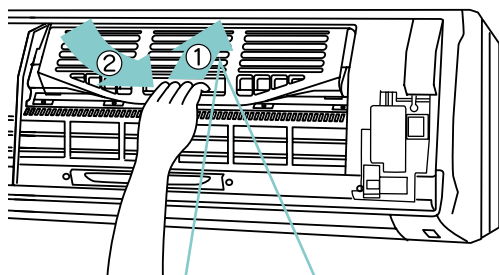
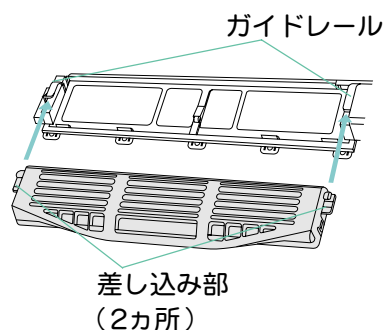
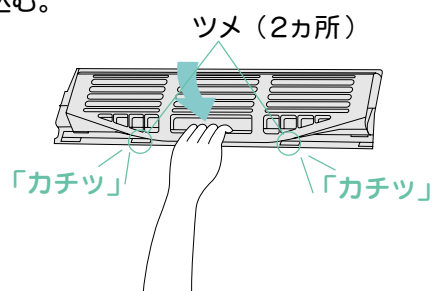
（下の図は説明のため吸込グリルがついていません。
実際は、吸込グリルをはずすことはできません。）

集じんユニットのとっ手を持ち、①の方向（上方）に持ち上げ、②の方向に引き出す。

4 水洗いをして乾かす

①40～45℃のお湯に約10～15分浸け置きする。汚れのひどいときは、洗濯用合成洗剤（弱アルカリ性または中性）を標準使用量の約15倍に濃くしたお湯に浸け置きする。
②上下、左右にゆする。またはスポンジで表面を軽くこする。
③流水ですすぐ
④集じんユニットを振って水を切る。（汚れが落ちにくいときは、①～④の手順を２～３回繰り返してください）
⑤日陰で十分に乾かす。

●**洗濯用合成洗剤（弱アルカリ性または中性）以外は使用しないでください。**
●集じんユニットを分解しないでください。
●集じんユニットを浸け置きするときに熱湯を使用しないでください。
●たわしなど固いものでこすらないでください。
●集じんユニットの内部にブラシなどを入れて洗わないでください。内部に張ってある細い線が断線するなど、故障の原因になることがあります。
●ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。熱により変形する恐れがあります。
●洗浄後は、完全に乾いてから取り付けてください。濡れたまま取り付けて空清運転をすると、運転ランプ（赤）とタイマーランプ（緑）が点滅し、空清運転が停止する場合があります。

集じんユニットの清掃

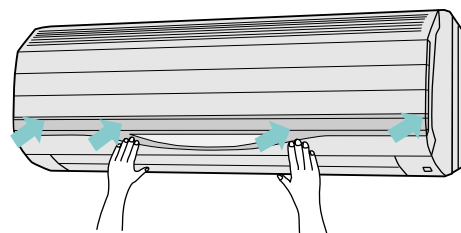
5 集じんユニットを取り付ける

（下の図は説明のため吸込グリルがついていません。
実際は、吸込グリルをはずすことはできません。）

①集じんユニットの両端の差し込み部をガイドレールに差し込む。

②奥まで差し込んで、集じんユニット下部のツメ（2ヵ所）を「カチッ」と音がするまではめ込む。

●取り付けは、集じんユニットが完全に乾燥していることを確認してから行ってください。
●集じんユニットを取り付けた後、とっ手の両側のツメがフレームに確実に入っているか確認してください。装着が不完全な場合、運転ランプ（赤）とタイマーランプ（緑）が点滅し、温度・湿度モニターに47と表示され、空清運転が停止することがあります。

6 エアフィルターを取り付ける

エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35 ページ）

7 吸込グリルを閉める

吸込グリルの下側の両端と本体表示部の両端の4ヵ所を押して閉める。

吸込グリルが確実に閉まっているか確認してください。

⚠注意

清掃のときなど、集じんユニットの取り付けは確実に

●取り付けに不備があると、集じんユニットが落下し、ケガの原因となることがあります。

●集じんユニットの清掃をした後、空清運転をしたときに運転ランプ（赤）とタイマーランプ（緑）が点滅し、温度・湿度モニターに47と表示された場合、集じんユニットが濡れていないか、または吸込グリルが確実に閉まっているか確認してください。
●完全に乾いていて、グリルが確実に閉まっていてもランプが点滅している場合は、集じんユニットに傷が付いていると考えられます。この場合、集じんユニットの交換が必要となりますので販売店にご相談ください。

お手入れのしかた（つづき）

光再生脱臭フィルターの取り付け

●付属品の光再生脱臭フィルターを以下の手順で取り付けてください。

光再生脱臭フィルターについて

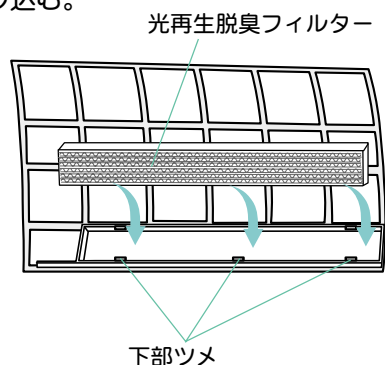
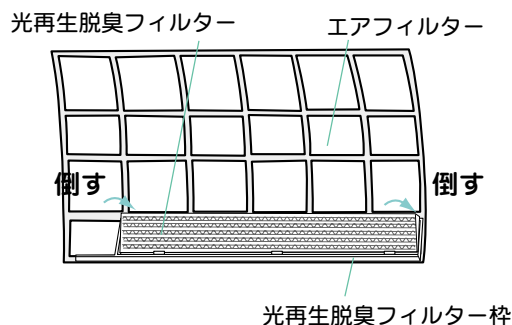
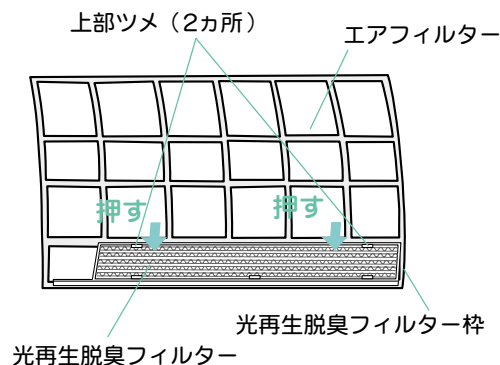
●光再生脱臭フィルターは、天日干しをすることによって、脱臭効果が再生します。（6ヵ月を目安にしてください）
●長期間のご使用で脱臭フィルターの汚れがひどい場合は、脱臭性能が低下します。３年程度を目安に交換をおすすめします。交換をするときは、別売の交換用光再生脱臭フィルター（形名APS-05B形）をお買い求めください。

準備
●リモコンで運転を停止する。
●電源プラグを抜く、または主電源スイッチを「切」にする。

1 吸込グリルを開けて、右側のエアフィルターを取りはずす

エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35ページ）

2 右側のエアフィルター裏面に光再生脱臭フィルターを取り付ける

①エアフィルター裏面の光再生脱臭フィルター枠の下部ツメに光再生脱臭フィルターの先端を差し込む。

②光再生脱臭フィルターの先端を差し込んだまま、光再生脱臭フィルター枠に向けて倒す。

③光再生脱臭フィルターを指で押し、光再生脱臭フィルター枠の上部ツメ（2ヵ所）にハメ込む。

3 右側のエアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉める

エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35ページ）

光再生脱臭フィルターのお手入れ

集じんユニットと同時にお手入れしてください。
（6ヵ月を目安にしてください）

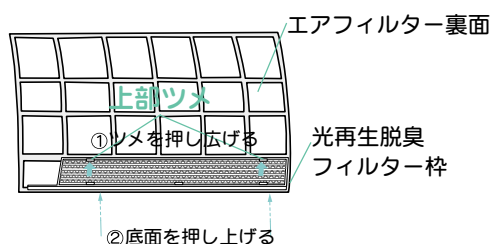
準備
- リモコンで運転を停止する。
- 電源プラグを抜く、または主電源スイッチを「切」にする。

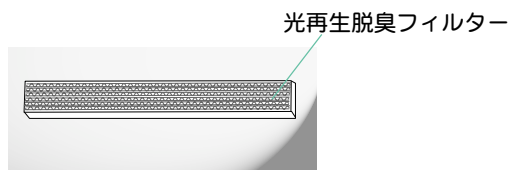
1 吸込グリルを開けて、右側のエアフィルター（大きい方）を取りはずす

エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35 ページ）

- ホコリなどが付着していた場合、掃除機で吸い取ってください。

2 光再生脱臭フィルターを取りはずす

①エアフィルター裏面の光再生脱臭フィルター枠の上部ツメ（2ヵ所）を指で押し広げる。
②光再生脱臭フィルター底面を指で押し上げる。
（左右、片側ずつ行ってください）

3 光再生脱臭フィルターを天日干しする

- 光再生脱臭フィルターを天日干ししてください。
- 直射日光の下で６時間を目安としてください。
- 水洗いは絶対にしないでください。

4 光再生脱臭フィルターを右側のエアフィルター裏面に取り付ける

光再生脱臭フィルターの取り付け の項を参照。（☞38 ページ）

5 エアフィルターを取り付け、吸込グリルを確実に閉める

エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35 ページ）

お手入れは、エアコンの運転を停止してから行ってください。

1ヵ月以上使わないときは

- 晴れた日に半日ほど送風運転するか（☞18 ページ）、プラズマクリーン運転を行い（☞26 ページ）内部をよく乾燥させてください。
- 運転を停止し、主電源スイッチ（☞14 ページ）を「切」にし、電源プラグを抜いてください。
- リモコンから乾電池を取り出してください。

⚠注意

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。

- ホコリがたまって、発煙・発火の原因になることがあります。

点検整備は

- ご使用状態によって変わりますが、エアコンを2～3シーズンご使用になりますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。点検整備はお買上げの販売店にご相談ください。なお、この場合は実費が必要になります。

本体の清掃

- 水かぬるま湯でふき、その後柔らかい布でからぶきしてください。

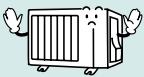
40℃以上の温水は使わないでください。

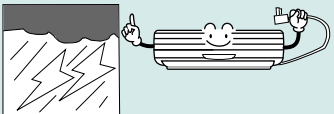
変形・変色することがあります。

揮発性・可燃性のものは使わないでください。

ベンジン、シンナー、みがき粉などでふいたり液状殺虫剤などをかけないでください。
製品を傷めることがあります。

⚠注意

室内ユニット内部の清掃はお買上げの販売店または当社サービス窓口にご相談ください。

- 室内ユニット内部の清掃は専門の技術を必要とします。市販の洗浄剤などをご使用になると、場合によってはプラスチック部品が破損したり、排水経路の詰まりなどに至ることがあり、水漏れなどの故障や感電の原因となる場合があります。

アースの確認

- アース線が断線していたり、はずれていないか確認してください。

修理を依頼される前に

次のような状態は、故障ではありません。

こんなとき	説明	参照ページ
本体表示部の運転ランプ（赤）が点滅する	●暖房運転時、外気温が低く湿度が高い場合、室外ユニットに霜がつくと、自動霜取り運転を行います（4～15分）。このとき、本体表示部の運転ランプが遅い点滅をします。 ●暖房運転を止めたとき室外ユニットに霜がついていると、自動霜取り運転を行ってから停止します。自動霜取り運転中は、本体表示部の運転ランプが遅い点滅をします。	9
	●運転中に停電などによりいったん電源が切れると、本体表示部の運転ランプとタイマーランプが交互に点灯／消灯を繰り返します。	41
すぐ運転しない	●運転停止後すぐに再運転した場合や、電源プラグをコンセントに差し込んだ場合、室外ユニットは約3分間運転しません。これはエアコンが故障するのを防ぐためです。	――
風が弱い・止まる	●暖房運転を開始したとき、エアコン内部が温まるまでごく弱い風で運転します。 ●暖房運転のとき室温が設定温度より高くなると、室外ユニットが停止するとともに室内ユニットはごく弱い風で運転します。お部屋を暖めたいときは、設定温度を室温より高くしてください。	――
	●暖房時の自動霜取り運転のとき、4～15分程度風が止まります。（このときは運転ランプが点滅します）	9
	●ドライ運転や除湿モード運転のときは、ごく弱い風で運転し、お部屋の湿度調整のために室内ファンが止まることがあります。	18～21
	●ソフト運転を行うと、弱めの風で運転します。また、冷房運転時にソフト運転を行うと、室内ファンが止まることがあります。	27
	●冷房やドライ、除湿モード運転の自動風量時、室内ファンが止まることがあります。これは室内ユニット内部に吸着したいろいろなニオイが、風で出てくるのを軽減するためです。	9
	●自動運転のとき、監視運転になるとごく弱い風で運転します。	18
音がする	●運転中や停止直後などに、水の流れるような音や、運転開始直後2～3分間運転音が大きくなることがあります。これは、内部の液（冷媒）が流れる音です。 ●運転中に、エアコンから「ピシッ」という小さな音がすることがあります。これは温度変化により、吸込グリルなどがわずかに伸縮するために発生する音です。	――
	●暖房運転中、「プシュー」という音がすることがあります。これは自動霜取り運転が働いたときにする音です。	9
リモコンから信号が送信されない	●スイング風向に設定している場合は、風向調節ボタンを押しても風向の調節はできません。（本体へ送信されません）	25
	●ドライ運転や除湿モード運転中は、風量が「自動」に固定されるため、風量切換ボタンを押しても風量の切換えはできません。（本体へ送信されません）	18～21
	●除湿モード運転中は、ダッシュボタンを押してもダッシュ運転を行うことはできません（本体へ送信されません）	28
	●タイマー設定（ワンタッチタイマー以外）の際は、必ず予約ボタンを押さないと、設定の内容が本体に送信されません。	30～32
霧が出る・湯気が出る	●冷房またはドライ運転のとき、室内ユニットの吹出口から霧（煙のように見える）が出たようになることがあります。これは、吹き出した冷風でお部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためです。	――
	●暖房運転中、室外ユニットのファンが停止し、湯気が出ることがあります。これは自動霜取り運転を行っているためです。	9
ニオイがする	●室内ユニットからニオイが発生することがあります。これは、室内ユニット内部に吸着したお部屋・家具のニオイ、タバコのニオイなどが出てくるためです。	――
	●空気清浄運転時やプラズマクリーン運転時、オゾンがわずかに発生し、臭いを感じる場合があります。	――

次のような状態は、故障ではありません。

こんなとき	説明	参照ページ
室外ユニットから水が出る	●暖房運転のときは、室外ユニットから自動霜取り運転で溶けた水が出ます。	9
暖房運転を停止しても、室外ユニットが停止しない	●暖房運転を止めたとき室外ユニットに霜がついていると、自動的に除霜運転を行います。(OFF時除霜) このとき、室内ユニットの運転ランプが点滅し、室外ユニットだけが数分間運転してから止まります。	9
空気清浄モニター（緑）が遅い点滅をする。	●約400時間空気清浄運転をしたときに点滅します。 運転を停止し、電源プラグを抜いて、集じんユニット、脱臭フィルターのお手入れをしてください。	36～39
空気清浄モニター（緑）が早い点滅をする。	●約500時間空気清浄運転をしたときに点滅します。 この点滅をしているときは空気清浄運転を停止しています。 運転を停止し、電源プラグを抜いて、集じんユニット、脱臭フィルターのお手入れをしてください。	36～39
停電したときなど	●運転中に停電したときは、すべての運転が停止します。 （タイマーの設定も取り消されます） 運転を再開する場合は、再度リモコンで運転し直してください。 ●運転中に停電などにより、いったん電源が切れますと、運転ランプ（赤）とタイマーランプ（緑）が交互に点灯します。 リモコンで運転を開始しますと、交互点灯は止まります。 ●万一、運転中にカミナリ、カー無線などにより誤動作したときは、電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んだ後にリモコンで運転させてください。	——

空気清浄モニターの点灯状態について

モニターの表示	説明
空気が汚れていない、または汚したつもりがないのに汚れ（赤）表示が多い	●空気清浄モニター用センサーは、芳香剤・スプレー（殺虫剤・化粧品など）・アルコール・水蒸気などにも反応します。 ●ドアの開閉や冷暖房開始時などの急激な温度変化・湿度変化・風量変化に対しても空気清浄モニター用センサーが反応することがあります。（しばらくすると通常の汚れ表示となります） ●加湿器を併用している場合、空気清浄モニター用センサーが室内の湿気に反応することがあります。
空気が汚れているはずなのに汚れ（赤）表示が少ない	●長時間空気が汚れた状態が続くと、その状態をきれいな空気であると判断することがあります。 そのときは、運転を停止し、お部屋の換気をして主電源スイッチをいったん「切」にした後「入」としてから再び空清運転を開始してください。
空気の汚れは変わっていないのに汚れ（赤）表示が多くなったり少なくなったりする	●リモコンで風量、風向を変更した後に汚れ表示が変化することがあります。（しばらくすると通常の汚れ表示となります） ●空気清浄モニター用センサーが空気の汚れを定期的に再確認するときに汚れ表示が変化することがあります。（しばらくすると通常の汚れ表示となります）
空気の汚れが変わっているのに汚れ（赤）表示が変わらない	●電源プラグをコンセントに差し込んだ後や主電源スイッチを「切」から「入」にした後に空清運転を開始した場合は、空気清浄モニター用センサーが約3分間準備運転を行うため、汚れの検出を行いません。このとき空気清浄モニターはすべて緑色となります（☞ 22ページ）。 ●暖房の自動霜取り運転時、空気清浄モニター用センサーの周囲の温度、湿度が安定しないため、センサーは汚れの検出を中断しています。暖房運転が開始して5分後からセンサーは汚れの検出を行います。 ●リモコンで運転切り換えをした後にセンサーは汚れの検出を一時中断する場合があります。

修理を依頼される前に（つづき）

次のようなときは、もう一度確認してください。

こんなとき	確認してください	参照ページ
運転しない 途中で止まる	●タイマーが働いていませんか。	30～33
	●主電源スイッチが「切」になっていませんか。	14
	●電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 ●ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか。 ●漏電遮断器が働いていませんか。 ●停電ではありませんか。	——
よく冷えない よく暖まらない	●温度調節のしかたが間違っていませんか。 ●エアフィルターが汚れていませんか。 ●エアコンの吸込口、吹出口を障害物でふさいでいませんか。 ●お部屋の窓や戸が開いていませんか。 ●冷房運転のとき、日光が室内に差し込んでいたり、室内の熱源や在室人員が多過ぎたりしていませんか。	——
	●ソフト運転になっていませんか。	27
	●風量切換えが「微風」または「静音」になっていませんか。	19
	●除湿モード運転になっていませんか。	20～21
リモコンの設定と異なる運転をする リモコンを操作しても運転しない	●リモコンの電池が消耗していませんか。 ●電池の⊕⊖が逆になっていませんか。	14
リモコンのバック照明がうすい、または点灯しない	●電池が消耗していませんか。	14
	●バック照明の明るさのモードが「省エネモード」または「消灯モード」になっていませんか。	16
温度・湿度モニターがついていない	●温度・湿度モニターを無表示にしていませんか。	34
空気清浄モニターがついていない	●空気清浄運転になっていますか。	22～23
	●温度・湿度モニターを無表示にしていませんか。	34
空気清浄モニターの色がうすい	●吸込グリルがしっかり閉まっていますか。	——
空気清浄運転中に本体表示部が下記の状態になったとき <本体表示部> 運転ランプ（赤）…4回点滅 タイマーランプ（緑）…早い点滅 温度・湿度モニター…47	●吸込グリルが確実に閉まっていますか。 グリルが確実に閉まっていないと安全装置が働き、空清運転を停止します。リモコンで運転を停止し、グリルの確認をしてから再度空清運転を行ってください。	37
	●集じんユニットが濡れていませんか。 集じんユニットが濡れていると、安全のため、空清運転を停止します。リモコンで運転を停止し、36～37ページに従って集じんユニットを取りはずし、完全に乾燥させてから取り付け、再度空清運転を行ってください。	36～37
	●集じんユニットが汚れていませんか。 集じんユニットが汚れていると、集じん性能が低下するため空清運転を停止します。リモコンで運転を停止し、36～37ページに従って集じんユニットの清掃をして、再度空清運転を行ってください。	36～37
	●集じんユニット取り付けが不完全ではありませんか。 集じんユニットの取り付けが不完全であると、安全のため、空清運転を停止します。リモコンで運転を停止し、37ページに従って確実に取り付け、再度空清運転を行ってください。	37

以上のことをお調べになり、なお具合の悪いときや、タイマーランプ（☞11ページ）が点滅しているときは、すぐに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店にご連絡ください。（☞43 ページ）

アフターサービス

必ずお読みください。

保証について

保証書（別に添付してあります）	●保証書は必ず販売店からお受け取りください。 ●販売店名、お買上げ年月日などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただいて、大切に保存してください。
保証期間中の修理	●正常な状態でご使用いただきながら故障した場合は、冷却ユニットについては５年間、その他の部分については１年間無料修理を行います。保証書がありませんと、保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、よく読んで大切に保存してください。
保証期間経過後の修理	●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
補修用性能部品の保有期間	●ルームエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後９年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
ご贈答品などで購入店に修理依頼ができない場合	●お近くの当社製品取扱店か、別紙の全国サービスネットワークに記載されている最寄りの当社サービス窓口へご相談ください。

修理を依頼されるとき

次のことをお知らせください。

●形名………………本体は下面のラベルに、リモコンは裏面に記載してあります。
●故障状態…………できるだけ詳しく
（運転ランプが点滅しているときは、その点滅回数もお知らせください。）
●お買上げ年月日…保証書に書いてあります
●お名前、ご住所
●電話番号
●訪問ご希望日……ご都合の悪い日も

廃棄時のご注意
2001年４月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのルームエアコンを廃棄される場合に、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

仕様

このエアコンの仕様は以下のとおりです。

項目			単位	値
形名		室内		AS28GPV
		室外		AO28GPV
種類				冷房・暖房兼用形　分離形
電源				単相100V　50／60Hz
冷房面積の目安	鉄筋アパート南向き洋室		m^2	19
	木造南向き和室		m^2	13
暖房面積の目安	鉄筋アパート南向き洋室		m^2	18
	木造南向き和室		m^2	15
冷房	能力		kW	2.8（可変幅0.5～3.8）
	中間能力		kW	1.4
	消費電力		kW	0.535
	中間消費電力		kW	0.205
	運転電流		A	5.9
	エネルギー消費効率		−	5.23
	運転音	室内	dB	42
		室外	dB	42
暖房	標準能力		kW	4.0（可変幅0.5～6.6）
	中間標準能力		kW	1.9
	標準消費電力		kW	0.770
	中間標準消費電力		kW	0.290
	運転電流		A	8.6
	エネルギー消費効率		−	5.19
	運転音	室内	dB	45
		室外	dB	44
冷暖房平均エネルギー消費効率			−	5.21
外形寸法（高さ×幅×奥行）		室内	cm	29.0×81.5×21.5
		室外	cm	57.8×79.0×30.0
製品質量（総質量）		室内	kg	11.5
		室外	kg	38
付属品				リモコン（1）、単四形アルカリ乾電池（2）、リモコンホルダー（1） 光再生脱臭フィルター（1）、据付工事用部品（一式）

●この仕様の数値は50Hz、60Hz共通です。
●電気特性、性能についてはJIS（日本工業規格）にもとづいた数値です。
●運転音は反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です（室内運転音は風量「強風」のときの数値です）。
●リモコンで停止したときの消費電力は1.5Wです（主電源スイッチが「切」のときは0Wです）。

愛情点検

長年ご使用のエアコンの点検を！

このような症状はありませんか？
●電源コード・プラグの過熱やコードに破れがある。
●ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
●運転中にこげ臭いニオイがする。
●運転音が異常に大きい。
●運転スイッチやボタンの操作が不確実。
●室内ユニットから水が漏れる。
●その他の異常や故障がある。

ご使用の中止
故障や事故防止のため、すぐに運転を停止して電源プラグを抜き、お買上げの販売店または当社サービス窓口に点検・修理をご相談ください。

お客様へ……おぼえのため、お買上げ年月日、お買上げ店名を記入されると便利です。

お買上げ年月日	年　　月　　日
お買上げ店名	
	TEL

株式会社 富士通ゼネラル
〒213-8502　川崎市高津区末長1116番地
☎044（866）1111（大代表）

9310225011-02